京城日報

三十日夕刊

定價　一部金三錢　一ヶ月金六十五錢(郵税共)　三ヶ月金一圓九十錢　六ヶ月金三圓七拾錢　一ヶ年金七圓(郵券代用二割増)
廣告料　五號活字一行金七拾錢　一行以上　…
京城太平通二丁目
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　松田政太郎
發行所　合資會社　京城日報社
電話　編輯用(三三四番)　營業用(三三二番)　…

（第三版）時間表

(南行)　(北行)　(行南)

◎鮮露貿易　其既往と將來

▲鮮露貿易の濫觴 は古く近代のことにあらざるも其價額に於て將た輸出入の權衡に於て兎も角見る可きものあるに至れるは極めて近時のことなり、遠き以前は姑く措き、最近三年間の統計に依りて其消長を觀れば、大正二年に在りては極東及び歐露を合し、輸出品價百一萬圓、輸入品價十二萬八千六百餘圓、合計百十三萬九千餘圓なりしもの、大正三年には輸出品價百十萬九千三百餘圓、輸入品價十八萬一千八百餘圓、合計百二十九萬一千餘圓となりて輸出入共に若干を增加したるが、大正四年に於ては一躍して輸出品價二百九十萬三千七百餘圓、輸入品價十五萬一千八百餘圓、合計三百五萬五千餘圓となり、輸入に於ては若干の減退を示せるも、輸出に在りては

▲優に倍額の膨脹 を呈せり、此の激增は三年中まで皆無なりし皮革製品の輸出、即ち軍需品の供給に外ならざるが故に素より一時的現象に止まり、之れを以て將來の鮮露貿易を卜し得可きにあらざること勿論にして輸入の如きは前年に比し却つて幾分の減少を來せり、然れども此他豆滿江岸一帶の國境より輸出さるゝ生牛數は年々激增を呈し大正二年中には二千二百餘頭、價額十一萬九千餘圓に過ぎざりしもの、大正三年には七千百餘頭、價額三十四萬五百餘圓に達し、大正四年には更に九千五百餘頭を算せり、這は直接若くは支那領を經て其大部分露領に搬入さるゝものなるが故に之れを綜合せば鮮露貿易は大體に於て

▲年々順調の趨勢 に在りと謂ふべく、殊に露國の勢力圏たる北滿鐵道沿線に對しては米の如き年々尠からざる輸出あると共に、昨年の如きは小麥粉の供給を哈爾賓地方に仰ぎたる事實あり、又た朝鮮を經由する内地對北滿沿線との貿易も比年相當の額に達せること世人の知る所の如し、斯の如く鮮露貿易は漸次好況に赴きつゝありと雖も、未だ著しき發展の域に達し得ざるは亦如上の統計に徴して否む可からざる事實也、地理的關係上最も進展す可き鮮露貿易が他外國との貿易に比し、甚だ殷賑ならざる所以のものは、案ずるに彼我の事情に通せざるに基くものにして、殊に既往數年間に於ける

▲朝鮮の大發展 が、未だ彼地の人士に充分知悉せられざるに由ること其大原因なる可し、尚ほ關税關係を見るに、從來歐露と極東露領の間には税率に甚しき相違あり、爲めに輸出は殆ど極東のみに限られ、歐露に對しては見る可きもの稀なりしが、歐洲の動亂は極東税率改正の止むなきを見、昨年末を以て歐露と同額を徴收するに至れり、關税の增率は輸出に對して打撃なること言を俟たざるも其增加は消費者に轉嫁せらる可きが故に這般の改正は輸出上左したる影響なかる可きは勿論、一面より見れば歐露に對する

▲其の障壁を除去 したるものと謂ふを得むか、斯くて朝鮮對歐露の貿易關係は益々接近し鮮內生產品の增加に依りて益々增進す可く、殊に露國太公殿下の今回の御來朝が日露の親善を敦厚ならしむる上に於て至大の關係あるのみならず、殿下の御來鮮は彼我の狀況を明かならしめらるゝ上に於て亦多大の効果あるを疑はず、鮮露貿易將來の發展期して待べきものあらむ

露國皇室の御繁榮

○聖上御還幸

羅馬法王特使來朝に就き天皇陛下には來月三日午前東京へ還幸あらせられ同日午後再び葉山へ行幸相成る旨仰せ出さる(東京特電)

○朝鮮駐劄軍御慰問

天皇陛下には寒氣の砌り朝鮮各地に駐劄する陸軍部隊御慰問の爲め左の如く侍從武官差遣の御沙汰あり
侍從武官　若見虎治
朝鮮駐劄陸軍部隊へ被差遣同武官は井口駐劄軍司令官以下師團長に御下賜の葡萄酒將校下士卒に恩賜の卷煙草酒肴料を調へ青木侍從武官屬を從へ二三日中に東京出發渡鮮の途に上る由(東京特電)

○換軍新地占領

羅馬來電に據れば墺軍はアレッシヲを占領せり(倫敦電報)

○關屋局長歸任

關屋學務局長三十日朝高麗丸にて內地より釜山著同十時三十分發北行列車にて京城へ向へり(釜山特電)

○サウ方面獨軍洪水に惱さる

サウ地方の獨軍中堅はストリパヤ、セルゲ兩河の氾濫に惱され、塹壕內は水に浸され前線と後方との連絡をボートを以てする處少なからず砲彈を積載してスモルゴン方面に向ひつゝありし獨軍用列車は洪水の爲めに脱線して爆發し鐵道線路は大破損を蒙れり(露都電報)

○英國勞働者大會決議
黨員の踏留を有利とす

英國勞働者大會は勞働黨員の聯合內閣に止まる事を以て國家の爲め最も有力なりと認むとの提議を百六十二萬二千票對四十九萬五十票にて可決せり(倫敦電報)

○羅馬法王特使長崎著

大皇陛下御即位奉祝の爲め羅馬法王ベネヂクト第十五世特派使節として來航の途にある北米聯駐在法王廳代表者ペトレリー大僧正は地洋丸にて卅日朝長崎着港同午後四時同じく地洋丸にて同港出發神戸に向ふべし神戸著は三十一日午後五時の筈にて翌一日上陸鐵路大阪に至り朋特力教會に立寄り同夜若しくは翌二日東上の豫定なりと因にペトレリー特使は今より十年前一度日本に來りし事あり宗教家と云はんよりも寧ろ政法家肌の人にして英佛兩國語に巧也と(長崎特電)

○雲南動亂地へ領事派遣

雲南に派遣せらるべき堀領事精谷書記生は雲南府に駐在して動亂の狀況を調査報告すると同時に在留邦人の保護に任ずべし(東京特電)

○南征官軍八萬到著

戰線に到著の官軍は既に八萬と稱せらる軍費調達の苦心想ふべし(北京特電)

○袁總統の時局策

袁總統は面諭の內に國體問題は已に決定し國民皆推戴するに對して予之れを承認し大局既に定り人心安靜なれば即位の大典は之を延期するも妨げなし國政の緩急上最急なる雲南討伐を先にして即位の禮を後にする意を漏らせるが是れ國民に對する自己の威嚴の維持上斯く言はざるべからざる場合として其苦心を察す可きが畢竟袁總統は目今即位問題に對して如何の決心を有するかは此際最も研究す可き問題なる可し今四圍の事情を綜合するに袁總統は先ず大軍を南下せしめて幸ひ一勝利を得ば之を好機會とし獨立軍と帝政中止を理由に安協して一時局面を平和に解決し後更に國民會議を召集して再び帝政問題を民意に問ひ民意一致億兆推戴の名の下に即位を實行するに至るならんと觀測する者あり(北京電報)

木浦

▲道警察署長勇退 木浦警察署長野能運氏は昨今健康勝れず數年前罹病せし胆石病再發せんとする虞れあるより氏は先輩友人の切なる勸告ありたるも醫師の意見を聞き斷然閑地に就き靜養するに決し此の程辭表を提出したるが由なる氏の如き剛直清廉身を以て部下を率ゐ內外の信望厚き好箇の署長を失ふは誠に痛惜に堪へず因に後任署長は未定なりと

▲農銀と商業資金 光州農銀木浦支店は純粹なる農工業資金の外貸出を爲し得ざるも斯くては土地柄不便多きを以て上司に請願中の由傳へられたるが最近聞く處に依れば上司に於ても其必要を認め近く認可さるべしと云へば一般商業資金の取扱も近く行はるべしと

柳都片信
二十七日　珂水生

年頭より一筆呈上致候　扨て二十六日午後三時半驛下車、先づ懸き候は驛前に客待つ三臺の自動車に御座候、次は道路の整理成つて、市街の面目一新せる事に候、小生が一年振りの平壤に對して最初に此語を發するは公平を失せずと自信致候。目下當地の問題中の問題は新商業會議所に御座候、道廳よりは既に總督府に案を具して申請を了し、二月上旬頃には指令に接すべしとの事にて昨今選舉名簿の作成中との事に候、會頭副會頭の候補者評判は宮川五郎三郎、大橋恒藏、板倉益太郎等の諸氏に候、朝鮮人側より選出すべき副會頭には朴經錫氏が名望家として推さるゝ模様に聞及び申候。

一般市況は昨年の不況は例外として例年に比すれば概して好況と可申、殊に清水龍藏氏の如きは鐵材騰貴の爲めに福の神舞ひ込みたりとの噂高く、軌道人車會社も株の引騰を見たる由に候、又牛皮を取扱ひたる諸店中にも露國注文にて一躍十數萬の富を致したるもの不尠候由、評判せられ居り候、獨帝も朝鮮平壤にて福の神扱ひを受けんとは、神佛ならぬ身の夢氣つき申間敷と存候呵々
追申平壤名物の一なる柳屋旅館の女主人病中にて驛頭に姿を見せざるは物足らず存候以上

釜山

▲阪田氏突然辭任 朝鮮瓦斯電氣株式會社監査役阪田文吉氏は突然香椎社長の許に辭表を提出せり大池、迫間、五島三氏協議の上極力留任を勸告するに決したるが辭表は目下大池氏手許に預かりある由

▲牧の島青年俱樂 釜山牧の島青年團は昨大正四年十一月御即位御大典を記念に交誼を厚うし智德を修め體育を圖る等の目的を以て設立せるものなるが現在會員四十餘名各自會則を遵守し日常の行動同島に模範を示せり尚同會にては夜間は擊劍の稽古をなす傍ら消防組と提携每夜交代にて巡邏警戒しつゝありと

▲耆老會宴會 釜山耆老會にては新年會を廿八日午後七時より南濱待合亭に開催最年長者西村傳次郎氏及び釜山日報、朝鮮時報兩社長を主賓として福田會長開會の挨拶大池忠助氏の耆老會に對する希望を述ぶ次で其れより宴會に移り藝妓の手踊り其他各自隱藝を演じ歡を盡して十時過ぎ散會せり

▲壹岐島人新年會 壹岐親睦會は三十日午後六時より大廳町初勢に於て新年宴會を開けり

▲道路廢止認可 釜山水產會社より府廳に南濱道路一部の變更を願出でたるに依り舊市場前通りの道路廢止願を本道廳に申請中の處二十一日附認可指令下附せられたり

▲魚市場工事落札 釜山水產會社再築入札二十七日擧行せしに當地中島文治郎氏金七千二百七十圓にて落札請負と決定せり

◎入澤慶北一部長出京 入澤慶北一部長は牛尾道書記隨行にて來る二月一日より開催の第一部長會議に出席の爲め二十九日京城に向け出發せり

湖西行
第六信　鯨洋生

論山を出るや全南視察中なりし入江總督府經理課長と邂逅す、此の行路には隧敵少なく、聊か無聊の感ありしが歸路には、到る處隧敵を得て途の長きを知らず、閑談同課長は、麗水より筏橋に木浦に路を取り、光州に入り、再び木浦に引き返し、海陸軍に十餘日、而も元氣旺盛也、談は課長の視察より、政治に、財政に説き來り論じたる處頗る明快、聽者連日の疲勞を忘れ、京漢、佳水院は何時の間に去りしも知らず、次は大田なりとボーイ君に教へられて、始めて氣付きたる筆、此の日の旅行程愉快なりしはなかりき、出發以來曇りなりしも漸く太陽に見參するを得て心神更に爽快課長と分袂して大田に入る(二十八日大田中川旅館にて)

福田會長代理荻野幹事起ちて左の七氏を委員に指名せり
五島甚吉、伊井幸次郎、村上元治郎、山下純一、松田福太郎、荻野彌右衛門、福田增兵衛、大池忠助、迫間房太郎

人事消息

▲吉賀首榮氏　廿八日別府附用雙鵬里に到り出陣生命保險會出席の爲め東上の筈
▲佐々木藤太郎氏(慶南道長官)　廿七日出釜中の處廿九日列車にて歸任
▲前　(事務部長)　同上
▲村上格一氏(海軍中將)　露太公奉迎の爲め軍艦對馬にて廿九日釜山入港同日午後三時抜錨鎮海鎮守府に歸る
▲小川賢氏(三井物產釜山出張所主任)　廿九日午前內地より歸釜
▲永原重雄氏(同安東縣出張所主任)　同上安東縣へ
▲岩崎丹太郎氏(撫順炭坑技師)　同上北行
▲本田選氏(安東縣駐在領事)　同上
▲上原源二氏(李寧守備隊大隊長小佐)　廿九內地より釜山着午後十一時發にて歸任の途に就く
▲小川源長氏(鎮南紙料製造所主任)　廿九日內地より釜山著鳴戸旅館投宿

日露親善

各寄港地に荷客取扱店あり

鐵道。郵船。商船と荷客連帶輸送の便あり

元山浦鹽斯德線
雄基門司甲線（釜山門司 長崎延長）
雄基門司乙線
釜山鬱陵島線
釜山浦項線
釜山麗水線
釜山濟州島線
釜山雄基線
元山雄基線
元山永興線
木浦麗水線
木浦濟州島東廻線
木浦濟州島西廻線
木浦多島海線
木浦若松線
仁川木浦線
仁川海州線
仁川鎮南浦線
仁川芝罘線

朝鮮郵船株式會社
京城南大門通一丁目

●春光滿城
太公殿下市中御巡覽

龍山官邸に入らせられたる露太公殿下は二十九日の一夜を安らかに寢ませ給ひ三十日は午前七時頃御目覺めあり隨員接伴員四五の人々を御相手に朝餐を召させられ夫れより御少憩の後ち九時四十七分に至るや殿下の御乘用に充てられたる黑塗自動車は玄關前に差廻されたり車内には綠濃きアスパラガスに紅紫二種のゼラニユームを玻璃の花筒に生けて車窓に吊し裝飾となし軈て殿下には露武官の御同乘にて立花總長、山形大佐、隈部警務部長、其他の同乘せる警護の自動車を先頭に十時十一分御旅館を發し電車道を京城へ南大門内にて太平町へ黃金町を經て永樂町を上り順次倭城臺總督官邸に進ませられたり

▲總督官邸御訪問

當日總督官邸にては早朝より邸の内外を淸め寺内總督、山縣政務總監、安達公使、白井少將、小松翰長、池邊秘書官、藤波通譯官等在りて殿下の御著を待ち參らする程に十時を過ぐる二十二分官邸の正門に警衞の將校の『氣を付け!!』の凛たる一聲起ると思ふ間もあらせず捧銃の劍光朝暾に映じて燦然嚠喨たる君ケ代の喇叭に迎へられ給ひつゝ御到著あり御召自動車の玄關脇にピタと停車するや寺内總督、山縣政務總監安達公使其他の接伴員内玄關口に御出迎申上げ直に官邸内を御通過あらせられ山上の綠泉亭に入せられたり綠泉亭にては御茶及御煙草を召し御休憩の上山上を暫時御散策遊されて十時三十七分寺内總督の御同乘にて市中御巡覽の途に向はせられたり

▲新高麗燒を獻ず
工業傳習所に成らせらる

太公殿下には自動車にて午前十一時五分總督府工業傳習所に成らせられ豐永所長の御案内にて階上の製作品陳列所を御覽に相成り各種製作品を賞美せられ同所製作に係る丈一尺一寸直徑五寸五分薄青磁色に白の蔓草模樣を描きたる精巧なる高麗燒花瓶を豐永所長より贈呈したる處殿下には深く御嘉賞遊ばされ同十一時二十分傳習所を出でさせられ總督府醫院を御覽の御豫定なりしが龍山官邸に於ける午餐の御都合上病院御覽を見合せられ直ちに自動車を昌德宮秘苑に驅り博物館に入らせらる

▲犀利なる御鑑賞眼
博物館を仔細に御觀覽

こゝにては末松博物館主任の御案内にて本館内陳列の古美術品を瞥はせらる殿下は豫ねてより美術骨董品に就て御造詣深く在しは驚くばかりにて新羅時代及び三國時代の佛像の相格圓滿崇麗なる事を此上なく愛でさせられ美術品の内にて高麗古墳より發掘したる螺鈿の小函に鏤められたる纖細なる萩の葉の細工の巧妙なるを賞美せられ館内の陳列品の蒐集及び陳列方法其の宜しきを得たる事など賞せられ最後に木彫の觀音像の岩に腰を掛け片足を投出したるを御覽に相成り安達公使を通じて此の觀世音は何故に足を投げ出し居るやこの御質問を發せられしにより末松氏は觀世音には三十六の分身示現あり其の一示現にして何故足を露出し居るやは不明なりと御答へ申しあぐれば殿下には半ば御戲れらしく女の身でありながら裸足を投げ出して居るのは甚だお可笑いではないかと宣はせられ同館より博物館寫眞帖及び古墳寫眞帖二冊及び絹紫三十組を露國國旗模樣のリボンにて美しく裝飾したるを贈呈したる處殿下にはこれを御受納あり

▲植物園の御逍遙
活動寫眞の撮影を御許可

次で殿下には庭園の風景を賞せられ自動車には召し給はず御徒歩にて植物園へ向はれ殊に同館の扉を開き萠けられ古木の茂りたる林間を御徒歩中活動寫眞の御撮影を御許可相成り植物園本館に入らせられ館内の熱帶植物の間にて御休憩熱きコーヒーを召し給ひつゝ御附武官が故郷を戀ごゝろに苑池の氷上を渡渉せんとするを樂はせられ御機嫌美はしく御談笑の上午後零時五分植物館を退出あらせられたり

太公殿下と寺内總督
三十日午前十時倭城臺總督官邸後庭にて

▲總督主催の午餐會
盃を擧げて殿下の御健康を祝す

斯くて太公殿下には零時十三分龍山御旅館に還御あり當日は寺内總督の主催により特に官民八十九名を招待して殿下の御健康を祝する爲め午餐會の催あることゝて正午より馬車自動車にて續々來著し殿下の御歸邸を待ち參らせたるが殿下は御歸還後暫し階上の御居間にて御少憩の後ち零時四十七分李王職樂隊の吹奏する樂聲につれて一同著席し最後に寺内總督の御案内にて殿下は東側より西して主人役たる總督と相對し御著席相成りたり殿下周圍の席順は東側殿下と一列に殿下に向つて右は山縣政務總監、左は井口軍司令官御傍に著席其左右には殿下の隨員及び石塚長官、朴齊純子、閔長官列し總督の左右には隨員、安達公使、李完用伯、大屋長官等の人々著席す當日の食堂は午餐會のことゝて極めて瀟洒なる裝飾を爲し食卓には前後約八種の鮮肴を運ばれ水菓子に至るや三鞭を拔いて互に殿下の御健康を祝し參らせたるが開宴中は絶えず隣室にて李王職樂隊の嚠喨たる奏樂あり就中淡路島通ふ『千鳥』の一曲を奏して殿下に日本樂を聞え上げ參らせたるは特に御興深かりしと承る斯くて午後二時十五分食堂を閉じ階下の廻廊にて殿下を中に來會の人々歡談數時同二十分全く散會殿下には御居間にて御休憩相成りたり此日此宴に參列するの光榮に浴したる人々左の如し

露國總領事、同副領事三名、上田秘書役、山縣政務總監、石塚、宇佐美、國分、大屋、池田の各長官、持地、鈴木の兩局長、小松翰長、芳賀、豐永の兩博士、渡邊、城の兩法院長、中村檢事長、島山法院長、松寺檢事正、立花總長、井口軍司令官、古海參謀長、井田主計監、生井理事、野津副官、矢島軍醫監、岡本參謀長、大立目聯隊長、閔長官、小宮次官、國分事務官、李完用伯、朴齊純、趙重應、李容植、權重顯、李夏榮、李根澤、李載崐の各子爵、白井、秋の兩武官、池邊秘書官、藤波通譯官、吉原總裁、野田副總裁、原田朝鮮社長、佐藤軍醫正、荻山、宮城、郡山の各課長、松村司令官、百武、飯田の兩艦長、山形、隈部の兩大佐、有賀部長、佐時、村井の兩大尉、木村理事、阿部本社長等、三木、和田の兩參事

▲小國民に御眼を留させらる

殿下を拜せんとして群る數多の群集の中三十日は恰かも日曜日のことゝて小學校の生徒其大半を占め居たるが殿下の御優しき御眼には早くもこれに御著目遊されたるが如く要所々々に集へる日本帝國の小國民に對し特に擧手又は御目禮等にて御會釋遊ばされたるは傍にて拜觀する者の心に一種の温か味を覺えさせたり

●太公殿下至極の御滿足
=接伴員 安達公使の談=

露國皇帝陛下の御名代として一路萬里遙々御來航遊ばされたるゲオルギー・ミハイロヴイツチ太公殿下には遙々御來航の御目的を何の御手落ち御不滿もあらせられぬ程に最も完全に御遂行あらせられて今や御歸途に就かせられてゐる寺内總督を初め我々特に天皇陛下より其役を仰付けられた接伴員一同の第一に滿足に堪へない一事は太公殿下御來航以來早や一箇月に垂んとしてる其間と云ふものは

▲非常な好天氣

で然も又氣温頗る温暖であつたと云ふ事で全く天祐と稱すべきであらうと思ふ殿下の御滿足に至つては其機に御會ひ遊ばさるゝ度毎に幾度も御洩しあつた御言葉に依つても推し上げらるゝが皇室及び政府、國民の熱誠、又は貴下等が筆を執らるゝ幾十百と云ふ新聞紙にしても一齊にトーンを揃へて國民の意志を傳へた樣子、殊に沿道各地に送迎し奉つた無邪氣な小國民の頑是ない顏付はさながらに國民の意志を其儘に表現したかの如く喜悅に堪へないと云ふ樣な事をさへお洩らしになつた更に或は神戸に於て又は京都、奈良の御觀光に際せられて呈された大花束を御覽せられたりも直に遠く倫敦の空を御偲びになつては『オヽ

▲之を妃に見せてやり度い

』との御言葉が洩れさせられたその御心の裡を推しまつれば我々風情も一種の感慨に打たれざるを得ない次第であると云ふのは大公妃殿下にはお二人の姫君を伴はれて昨年五月倫敦の御親殿(英國皇室)にお出になり未だ漸く二三箇月もお經ちにならぬ七月の末に今回の大戰爭にお會ひ遊ばされて御歸途たる北海の危險の爲め其儘倫敦にお留まりになつてゐらせられたのである太公殿下の御心痛は一方ならぬものがある譯で無論度々電報の御通信はおありなさるものゝ恁く風光明媚な南國の旅路に在らせられて盡きせぬ御歡喜にお會ひ遊ばさるれば時折は思ひ起させらるゝ

▲一入御思ひ深き次第と推し

上げらるゝ隨員の内にはポーランドの人もあるが今や其家郷は獨墺軍に蹂躙せられて懐かしの影もない有樣となつてゐる事だから其心とても又た普通の旅人の心ではない譯であるが太公殿下の正式の御務めは既に右申した樣に總て御滯りなく終らせられた譯であるが丁度御歸へりの途ではあり京城にお立寄り遊ばされて併合以來既に全六年に及ばんとしてゐる總督政治の理想的施設を受けて面目を一新し其民は皷腹擊壤してゐる

▲朝鮮を御覽に

なり更に官邸に寺内總督を御訪問遊ばされて接伴に努められたに就ての謝意を表されし樣こしてゐらせられる殿下今回の御來航が歐洲戰爭勃發と同時に頓に親善の度が加へられた日露兩國の國交に更に一段の濃密敦厚の度を增すに至つた事は今更喋々樣返へす迄もない事である國民新聞が『日露の親善は同盟以上の親善である』と書いてゐたが實に然りで或は將來に於て同盟と云ふ樣な事が實現するに至るかも知れないとは云ふものゝ總ては唯神樣のみ御承知の事で我々は唯現在にベストを盡してよりよき未來を持つ樣に努めるより外はない

演藝

△御成座に舊劇 御成座にては今回歌舞伎座居阪東壽郎、市川勝雀、市川仙太郎、市川我老松一座が來る二月一日より開演の筈なり、同座には從來大阪倶樂部と稱する新派劇にて年中休み無しにて興行を續け居りしが今回特に目先きを變へたるは同座のためにも官邸のためにも慶ぶべき事なり

▲壽館 三十日興行左衛門の語り物左の如し 日本一香み取模(香右エ門)寧子萬兵衛(むら鶯)義士傳(北海入道)春日の局、龜井而登守(山本松子)寧子まよひの印籠、明治俠客傳(燕左衛門)

▲浪花館 東京落語遊三一行は愈々三十一日限りにて當地打上げ元山に向ふべし

忠州

▲忠州副業有望 鮮人の放縱擅惰なる性僻を矯正し勤儉貯蓄の美德を涵養……

一般細民は生存競爭の社會現象に餘儀なくせられ内省的に勞務の風習を自覺せるもの〻如く殊に本年度に於ける……の梱包用として例年一萬以上の叺を費消し四年度に於ては專賣課出張所の需要を充たす能はざりしも本年は……く增加し前途益々有望なり

▲岡田技師煙草視察 總督府度支部專賣課技手岡田同課忠州出張所長……

……まで御見送り申せり

▲忠南第一部長出京 忠淸南道第一部長……は本府に於ける第一……

◎連絡船上陸客 廿九日午後……

天氣 西の風晴れ

▲一月卅一日
三十日午後六時迄……
卅一日午後六時迄……

○日出 七時五十五分
○日沒 五時……

お札博士唐紙揮毫の一齣

釋王寺詣で＝旅宿の主人硯箱を持出す

『二年以前に觀た釋王寺をモ一度觀るのも一興ぢや』とお札博士のスタール教授は廿八日の夕方釋王寺驛のプラットフォームに降り立つた、驛には此の地の植村憲兵隊分遣所長と笹野驛長が出迎へに來た何うせ泊るなら麓の冷泉宿に行かうかと云ふ所へ此の地に二軒ある偉い方が何れも家に錠前をかけたまゝお留守中の事とて甚だお氣の毒であるとの返事、其處で博士は『俺の先見が當つて居る』と威張りながら驛前の雪峯館に入る、導かれたるは特等の四疊半の一室、博士は後ろの床に置かれた□何もございませんながら蒔繪の椽に毛布にくるまりつゝ早速と萬年筆を動かし出すそして何を云ふかと思へば『おゝ、俺は近來多忙な爲めに二日分の日記と二日分の新聞原稿とをなまけて居つた』となか／＼のお元氣、其處へ此地の驛長さんがやつて來て恐れながら博士の御名筆を願ひたいと唐紙と硯箱を持ち出す

□有難のお札博士もこれには一本參るかと思ひの外『諾!』と許可□

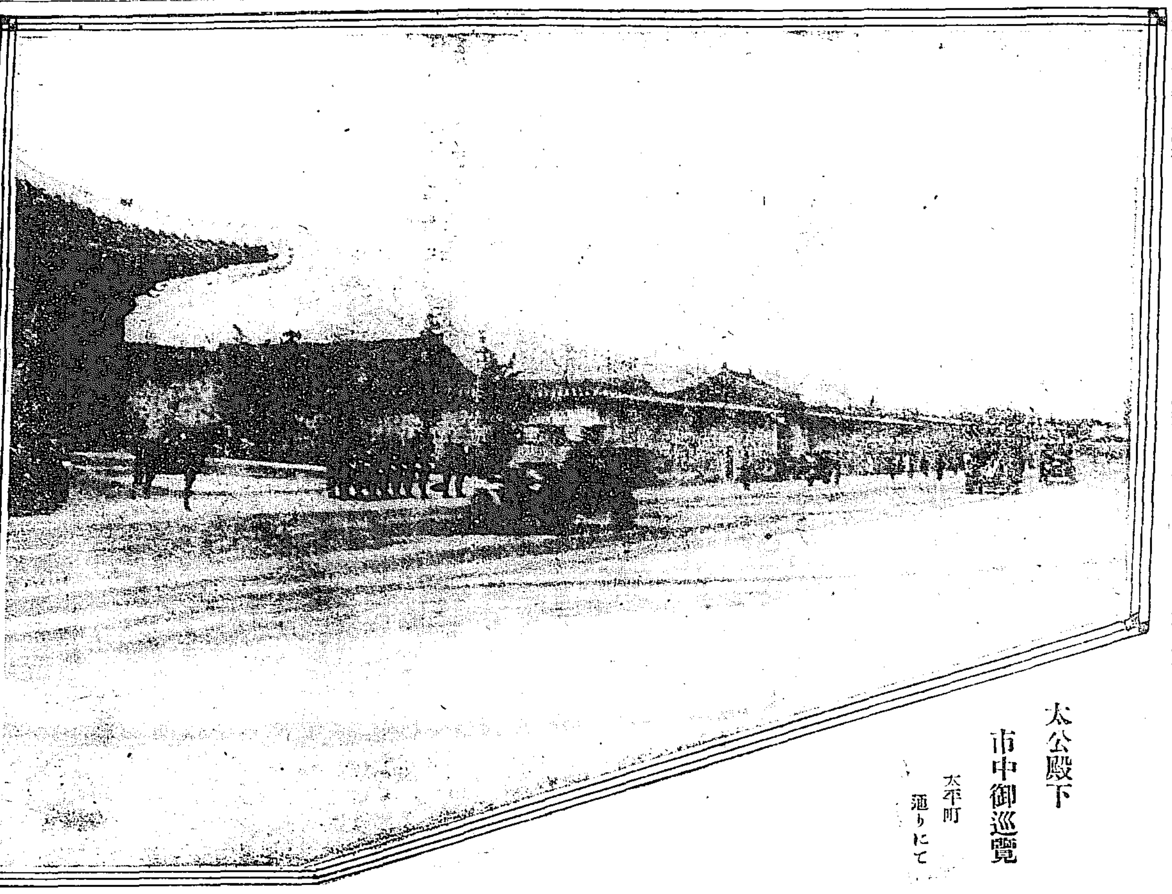
ニコ／＼して『ウイズ、ベスト、ウイッシエス、フレデリック、スタール、1—28—Taisho 5』と書き記す、そして名前の下には8の字を横長くしたやうなサインをするので米國人もやりますかと尋ねると『これは俺が發明で憶へたことで彼地の人はこれが無ければ承知しない尤も米國にもずつと昔はあつたものだ』と言ひながら日本では納札などに『壽多有』の文字を用ゐるが何うだ此の文字ならば芽出度からうと打ち笑ふ、次ぎには又同行四人の晩餐が始まると博士は巧みに箸を動かし作ら洋服姿の三人を顧みて曰く『若し前橋が

□日本皿で支那饌が御馳走だつたら俺はさぞ嬉しからうに□

東洋の人は皆西洋を眞似る、おゝ!! 若き東洋よ!!』と、箸をおくと又毛布の達摩さんとなる、處へ這回は又宿の主人が次の間から現れた、博士は又字をかけおやらうと笑つて居ると案の定御名筆をと來た、達摩さん這回も亦『諾!!』と許り毛筆をとつて『イン、カインド、レメンブランス』と記し相變らず署名の下に8の字をかく、傍の者は

□博士の手つきと提灯行燈が可笑しいとて抱腹絶倒すれば□

ながら『老人をさう笑ふものでない』と云ひながら『これでも米人の助手が此の席に居ればスタールの技倆に神に入ると驚嘆するであらう』と大笑ひとなる、



太公殿下 市中御巡覽 太平町通りにて

サンデエゴの水難

邦人廿五名溺死＝損害百萬弗

加州サンデエゴ來電に依ればサンデエゴ附近の堤防增水の爲め破壞せられ流れ込みし水量五十億瓦に及びたるが是等の水は總てオテープアレーに浸水して五十名の溺死者を出せり内二十五名は日本人なり損害百萬弗と稱せらる（紐育電報）

巡査格鬪して強賊を捕ふ

全羅南道康津郡古郡面中加里申亨洙（四五）寶城郡會泉面永川里金錘述（三四）潭陽郡大德面龍拾（三七）同永谷里金大根（二八）外三名は大正三年三月より翌四年十二月二十八日までに各郡に於て三十八箇所に強盗を働き康津警察署の江淵巡査等は苦心の末終に此を珠數繋ぎとなしたるが主なる犯罪は賊金大根、金錘述、金東根の三名は大正四年一月中康津郡鵲川面治洞李泰均方に至り裏口より闖入して金品を強奪の上李泰均の妻朴姓女（三二）を縛しめし上逃走し同年二月中は鵲川面復興里酒幕李德信方に至り牛切庖丁にて宿泊人朴順集を刺し家人及び宿泊人を縛り上げ金圓を強奪し同年四月中は康津郡唵川面益山里金成和方に赴き温突内に踏み込み銃ほも主ら人を打擲したる上同家の軒先に放火したる等無敵の曲者にて康津署の江淵巡査は本年一月元旦徹宵して潭陽郡に赴き連累の二名を其の自宅に逮捕せんとし同郡大德面にて賊と格鬪し賊の爲めナイフにて左手の指二本を斬られ終に一賊を取逃せしも此れが爲め附近人民は安堵の胸を撫したりと

八年前の人殺

隆熙二年田奉學等五名徒黨を組み銃器軍刀等を帶持し各所を横行中忠淸南道洪州郡化城面李鍾國（三七）の一進會員なるを知り自己等の行動を時の政府に密告するならんと臆測し五名共謀し同年十月下旬李鍾國を其隣家韓春化宅に結縛拉去し同面前川附近にて帶持の軍刀を振ひ前額部面部等に重傷を負はしめ遂に之を殺害し其死骸を前川に投棄し逃走したるが田奉學は其後八年間逃跡を晦まし居りし處遂に先日靑陽郡飛鳳面にて逮捕する處となり當時缺席裁判の絞刑を不服とし去る一月二十七日公州地方法院に故障申出に付近く之が公判開かるゝ筈なりといふ（公州）

和泉町のボヤ

三十日午前四時三十分頃京城和泉町二百七番地金秉致方糗擂場より發火したるより常備消防隊直に出動屋根裏を燒きたるのみにて同五時鎭火せり原因損害取調中

京城學校組合告示第一號

京城學校組合區域内ニ居住スル内地人兒童ニシテ明治四十二年（己酉）四月二日ヨリ同四十三年（庚戌）四月一日マテニ出生シタル者ハ來ル四月一日ヨリ就學ノ始期ニ達スルニヨリ右學齡兒童保護者ハ所定ノ入學書ニ戸籍謄本若ハ抄本ヲ添ヘ來ル二月二十九日限リ京城學校組合又ハ京城府龍山出張所ニ提出スヘシ

大正五年一月十日

朝鮮總督府府尹　金谷充

解雇廣告

元本町分店主任　吉村市介

右の者本人の都合により辭任申出當會社と關係を斷ち候間此段廣告候也

京城黄金町

シンガーミシン會社

京城支店

●大勉強仕候●

淺草海苔

東京府下大森町

電話大森四一一番　藤森商店

鑛山賣買の速かなる事は京城府安國洞一五三番地（電話二二六四）中厚永の鑛山賣買仲介所に依賴するに限る

撞球界の泰斗　王乃一熊著

撞球指南

菊版上製三百餘頁　總クロース美裝函入

定價壹圓五拾錢　□郵税金十二錢□

玉突の理論と實際を解説せる

初學者の入門熟達者の虎の卷

「東京朝日」評　我が撞球界に於ける科學的知識と技術の卓抜並ぶものなき點に於て斯界の權威として推さる、著者の最も統一せる述作なり本邦撞球者の爲に他に類例なき好指導として推薦すべき者なり

取次所　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

旦那樣の御滿足は奥樣のお悦び

旦那樣の御滿足は※澤の鶴によりて得らる

品質の一定不變……混合物の絶無

香味の芳烈無比……價格の低廉

此四ツ揃つたのが家庭必備の良酒※澤の鶴に候

日光　喜納　米壽　特約店

佐藤牧商店

城本町一丁目　電話二九番

大正五年劈頭の流行は

外でもない何處へ行てもたゞ

噂さばかりの

米國リグレー會社製

チウインガム

（一名嚙み菓子）一包金十錢

煙草 世界的 代用品

■菓子で胃を丈夫にする質に不思議な効ある

■煙草の代用品として全世界に普及したる

■喫煙後に用ふれば中毒緩和に剴切なる

食後常用の特効

齒牙を白くし

食慾を增進し

嚙めば嚙む程美味で芳香で元氣を增す

運動外出に必要

電車、汽車中自轉車、自働車

ベースボール

ボートレース

テニス

運動會、遠足會

芝居、寄席

散歩、旅行

日本、朝鮮、滿洲總代理店

東京銀座　ゼ、ホスピタル、サプライ會社

代理店　京城本町二丁目　株式會社明治屋京城支店　電話二二二、一七二二番

▲市内及各地到る處の菓子店、食料品店、洋酒店藥店にあり▼

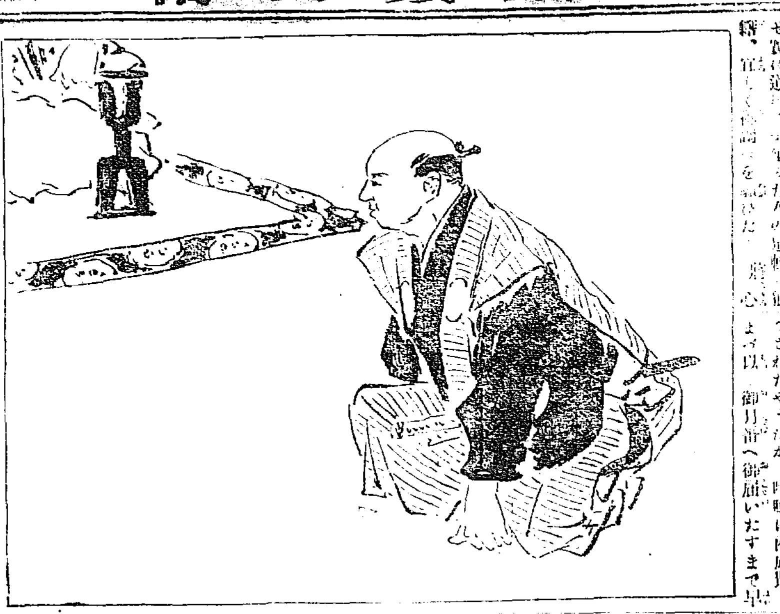
▲近來ニセモノ出來せり何卒「リグレー」の名稱に御注意を乞ふ▼

越後大評定

第百十六席　早川貞水口演

足輕の狼籍

中老岡島將監、騷動の中へ割込み『控へろ、控へろ、双方とも止まれッ』と云はれましたから、初めて氣が付き九人の者は『ソレ岡島様が御出張引揚げろ、引揚げろ』と御辻へ引揚げる、そこで將監が　將『扨て各位方に於ては何事である、元日大手前に於て斯かる騷動を惹起すとは、甚だ以て怪しからず、兎に角人數をまとめ引揚げあつて然るべし』と云ふと、供頭の三人進み出で『三中老の前ながら、賢に道理至極、五人の足輕の狼籍、宜しく御詮議を願ひたい』將『心さへ刀を拔いて斬付けましたる故、已むを得ず之を取鎭めるため、狼籍を追拂ひまして御坐る、中老殿には宜しく御賢察の程願ひ奉る』岡島は此の忠義より出でたる決心の程を察し『然らば、月番年寄役山田大膳殿へ御届けに及ぶ、併し今各位方には、切腹など何も早まるには及ばぬ、今此處で死ぬるは犬死、同様、此岡島は各位の心中は宜く察し居るに依り御沙汰のあるまで御愼みあつて然るべく、隨分手離くなされたやうだが、喧嘩は兩成敗、よつて以て御月番へ御屆いたすまで早



まらず御控へ下さるべし』兵『ヘエ有難き次第』其から岡島は山田大膳殿へ駈附ける　大『何事か』將『大手脇木坂に於て、北口足輕五人松平掃部頭殿初登城に對し、無禮狼籍に及び斯く〳〵の次第』大膳腹の中で身分は低いが、御家の忠臣、感心な者と思召したが、御家老の身の上そんなことは口外もなりかね　大『左樣で御坐るか、御主君へ申し上げ、宜きに計るで御坐る』將『何分宜しく御取計ひを』是で山田大膳登城に及びまする、然るに大殿光長侯には、早くも此騷動御承知相成り、烈火の如く御憤りの所へ、大膳恐る〳〵　大『恐れながら麗はしき體を拜し恐悦至極に存じ奉る、今日元旦の御祝儀大慶申し上げまする』光『目出度いことぢや』大『就いては元日早々斯かる事を申し上げまするは甚だ好ましから

得まして御坐る『此方は五人の者をうせ犬死だ』『エ、こんな奴を對手に死ぬのは犬死だ、氣が氣かぬが腹を切つて泉下に於て先君へ御奉公を致さう』と云つて居る所へ、岡島が來り　將『アイヤ五人の者』兵『ハッ』將『今日若殿松平掃部頭に對し無禮を働きたる所如何なる次第なるか』老川はじめボロ〳〵涙を流し　兵『恐れながら吾々此の如く御辻を堅め居りまするが、如何にも下野守様の御最後、また三河守様御不行跡より、此度の小栗殿の一子大六殿が松平掃部と稱しての初登城、御親子御對顔などとは以ての外と心得、ツイ制止聲を掛けずに居りました所、なぜ制止聲を掛けぬ座眠つて居るたゞと申し、此の通り御辻の御定紋の提灯を打ち破り、吾々の控へ居る腰掛を投付け御羽目御園子も彼の通り亂暴いたし剰

ざる儀なれど出來ましたること故、據ろなく申し上げ奉るが、今日松平掃部殿御登城のため、北口御辻へ掛らせ給ふと、北口足輕五名の者が、何か亂暴狼籍とのことにて一應取調べたる所、五人の足輕、制止聲の儀辨へず無言で控へ居りし所、掃部殿供頭、御辻へ向つて拔刀せしより、終に喧嘩と相成りまして御坐います、喧嘩は兩成敗と心得まするが如何取計ひませうや、中老岡島將監より取調べたる儀、申上げ奉る。

お聞きなさい

▲親の死目に逢はぬと　千葉縣君津郡大貫村漁夫廣田和藏(四七)は十八日死去し同村某寺に埋葬したが東京に奉公中の孝行息子と呼るゝ長男七藏(二〇)は親の死目に逢はぬ悲しさに前記墓地に赴き窃かに發掘し腐爛せる父の顏を眺めて悲嘆したる事發覺し墳墓發掘罪で拘引せられた

▲誕辰を祝へぬ俘虜　名古屋の獨逸俘虜は皇帝誕辰を祝ひ盛に運動會をやつたが大分では僭越だとて大目玉を頂戴して中止し、丸龜では敵國皇帝の誕辰を祝する事は能はぬとて餘興は一切不許可になつたさうだ

▲小判二萬圓の發見　鳥取縣西伯郡車尾村の諸封家深田時三郎方は後醍醐帝隱岐遷幸の際御休憩所となりし家だが古來同家佛壇の下に嚴重に鍵を施せる一棚あり此程開き見たるに二個の慶長小判時價約二萬圓程を發見した

▲金の木乃伊が出來る　最近佛國ではツバリチツト教授の發明で人間の死體を其儘銅像にする事が流行して居る其方法は死體の皮膚に硝酸銀の溶液を塗りそれを硫化炭素の中に溶された白燐の蒸氣で燻らすと皮膚が眞黒になつて光を生ずるそれを又ルツバニ鍍金法で熱電體勢硫酸銅液盤の中に浸し適當の電氣を通ずると數時間後に死體は銅になる仍て堅くなつてから數箇所に穴を穿ちて體中の瓦斯蒸氣を放ちて炭火の中に投ずる時は內部の死體が皆灰燼となつて美しい銅像即ち金の木乃伊が出來るのださうな

二月一日九星

舊十二月廿八日　戊辰　本命二黒　坤　平　先負

▲二黒　不斷續の事有日　新事見合南へは吉　暗劍坤　▲三碧　怜情のたらぬ事有日　新事手控へ事は吉　父爭を離まるべし　▲四緑　障害生の事有日　新事手控事は吉貸物仕入に用心の事　▲五黄　腰の据らぬ事有日　新事手控事は吉　▲六白　盛運の日　轉居入學命名にせらるべし　▲七赤　心弘水職者作戰體に國勵誠業等萬吉を遂ろ日轉居開業婚普進で利有女子の獨立業に妙　▲八白　氣のいら〳〵する日　落膽する事は妨なし　▲九紫　居入學旅行名出求職縁談婚禮大なる破れ萬吉　▲一白　ぼんやりした事有日　新事手控事は吉皆人と交加する事を忌む

演藝案內

大正館　櫻井町　電話八七三番
廿六日より大寫眞提供　[illegible]　軍事大探偵大活劇 黑裝束　[illegible]

壽座　本町　電話五七八
廿八、九日替狂言　假名手本忠臣藏　[illegible]

黃金館　黃金町四丁目　電話二六三七
[illegible]

佐久良座　新龍山
新派自然劇團三輪貫一行
一月三十一日藝題　親と親
安田老人(三輪貫)石山孜江(水野勇)尾正作(香月晃)下女おまつ(池田華榮)安行吹一(司九一夫)安田欣一(西村健)北澤大藏(美吹正雄)石山花子(福田)石山義則(播磨陽一郎)親族大西(藤島操)石山義夫(都島美夫)深澤庄平(乾三吉)

浪花館　明治町　電話二六〇番
東京落語三遊派幹部一行
御祝儀寶之入船(三遊亭當三)二人旅　播州巡り(三遊亭三路)伊勢參宮(三遊亭遊三郎)道具屋(柳亭春楽)動物音聲(鶯亭梅陽)源平(三遊亭遊玉)席紙影繪　たらちめ(三遊亭三勝)時世笑話滑稽琵琶(瓊浦庵三尺坊)小言幸兵衛歌舞(三遊亭遊三)大切座員總出即席笑話
十二日より始めたる三遊亭三の落語は非常の好人氣

御成座　町　電話一九一
二十三日藝題　入の妻　喜劇越後獅子
[illegible]

壽館　町　電話一〇五〇
廣江萬愛煙家の福音　[illegible]
十五日目演題　武士道の誉(文右衛門)義烈百傑(燕若)日本一香み取槍(九紫)孝子　萬兵衛(ひら雲)義士傳(香右衛門)孝子　日の局(北村入道)春子まよひの印籠(二席山本松子)孝　明治俠骨傳(長講二席潔左衛門)

初版賣切再版近日著荷
國民新聞創刊二十五年記念出版
蘇峰文選

總クロース上製千五百頁　定價三圓五十錢　郵税(內地書留小包料金三十錢　滿、樺、同上六十錢)

▣蘇峰文選は、一部の政治史也、國力發展史也、文學史也、會社史也、即ち明治大正時代の反射鏡也。蘇峰學人彼れ自身の影子也。日本國民必讀の教科書也。精神的修養の糧食也。深雅なる趣味の涵養所也。所有る文章の模範也。孟子の謂る集めて大成すとは、本書の謂也。若し一たび之を繙く人は必ずや斯言の至當なるを信ぜむ。

▣蘇峰文選は大海の如し、鯨鯢の大より蝦蟹の細に至まで、有らざる無く、載せざる無し。其經世的論策は固より、古今內外の人物月旦や、記傳批評や、文書批判や、感想錄や、隨筆雜記や、紀行文や、大珠小珠長編短編に錯列羅陳す。宛かも岷岡に登りて珠玉ならざるは莫く、采錦に入りて斯編錦繡ならざるは莫きの觀あり。而して其內容の豐富なる、之を單行冊子となすも尚ほ可なる者、一二編にして止まらず眞に一代の鉅觀たり。若夫れ著者識趣の超卓と、批評眼の犀利と文字の至妙とは、定論既に久矣。

▣本書は、過去二十年間を區畫するに、或る期間を以てし、分つて七編と爲なり。第一編は明治十九年より同廿六年に至る、平民主義並に文學鼓吹時代の作物。第二編は日清戰役期間の作物。第三編は帝國主義提唱時代の作物。第四編は日露戰役期間の作物。第五編は其の戰後經營時代の作物。第六編は明治天皇及昭憲皇太后の御事。第七編は大正時代の作物にて、則ち本書の大經大綱は、國家の出來事と相終始して一篇現代史的觀を成すと雖も、時間若くは空間を超越したる、趣致極て深き純文學的作物亦た多々之れ有り、本書は實に近來稀有の產物と謂ふべく、又た唯一必傳の書と謂ふべき也。

▣本書內容見本は御申込次第進呈致候

發行所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

京城學校組合告示第三號

一金五拾圓
右者佐賀縣小城郡小城町相浦邦彥殿ヨリ父秀翁京城府本町四丁目ニ於テ死去ノ際各位ヨリ贈ラレタル香料ノ返禮ニ代ユル旨ヲ以テ前記ノ通リ當學校組合特別基本財產ノ內ヘ寄附セラレタリ

大正五年一月二十八日　京城學校組合

優等清酒　一鶴
京城本町四丁目　電話六五四番　本荘酒店

米國ビクタートラツプ會社製
獸類捕獲器　壹個　壹圓五十錢
狐、狸、ヌクテ取器械
仁川濱町　京日仁川代理部

卸問屋
日鮮諸雜貨　鍋釜金物類
▲日月票▼　▲蝙蝠票▼
洋蠟燭
原料騰貴の爲め一割半値上げ
釜山本町三　近藤商店
(迅速)(取引)(確實)
電話六七八番　振替京城三五八番

資本金　五百萬圓
頭取　安田善三郎
★
株式會社百三十銀行京城支店
京城本町壹丁目　電話長五八番　一九四番　振替貯金京城一二三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

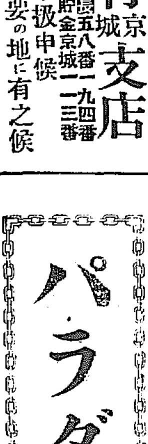
定價　金二錢

朝鮮煙草株式會社
新年大賣出し
御幸運の方に御金側時計や自轉車が當ります

賣出品名　ホワイトコスモ又はクツクー。パラダイス。プロペラー。ヴアイオレツト
賣出期間　自一月　日至二月末日
抽籤期日　三月末日
抽籤場所　京城本社
景品引換場所　釜山元賣捌所
景品引換期日　四月五日より四月末日まで
景品方法　右賣出品は何れの品にても一ボール御買求になれば即時に一枚の抽籤券を御渡し致しますから御忘れなく福の神を逃さぬ樣御注意を願ひます　抽籤券御受取の上は抽籤期日迄御所持下され當日抽籤の上當籤番號を發表しますから御當籤の上御當籤の景品は前記元賣捌所に於て直に景品と引換致します

景品種目
一等　十八金側懷中時計　ランドシツプ又イグーヽ號　(一個宛)二本
二等　自轉車(附屬品一式　コスター付)　(一輪宛)二本
三等　上等毛布(二枚續)　(一組宛)三本
四等　銀側時計　瑞西製三枚蓋アンクル石入　(一個宛)八本
五等　桐箱入飾付懷中鏡　(一個宛)十五本
六等　上等皮製中折紙幣入　(一個宛)二十本
七等　朱塗金蒔繪葉書入　(一個宛)百本
八等　懷中卷煙草入　(一個宛)一百五十本
九等　上等タフル　(一枚宛)五百九十本
十等　新案兩切煙草　コスモス又はクツク　(二十本一包宛)一萬四千八百本
空籤一本もなし

朝鮮煙草株式會社釜山元賣捌所
小田商店　山西義一商店
金子安一商店　赤坂正一商店
中野健造商店　(いろは順)



定價　金二錢

汽車
京釜線　南行　北行　京仁線　京元線　[illegible]

京城日報

第二版

三十一日朝刊（第三千十六號）

發行所 合資會社 京城日報社　京城太平通一丁目　發行兼編輯人 [illegible]　印刷人 [illegible]

…[illegible]…千七百九十六萬噸之れは千九百十四年…[illegible]…の十三萬五千噸和…[illegible]…三百七十五萬噸…[illegible]…たるもの…[illegible]…ざる方法を講せるやも計り難し要する…[illegible]…

銅產增加計畫

…[illegible]…昨今の活況を呈し居れるなり（以下）…[illegible]…の擴張等鋭意增加に力を盡したる…[illegible]…米國其他各鑛山國は銅產額の增加…[illegible]…が同年の總產額は前年に比し八分內外增加せしのみなれば本年は更に…[illegible]…を計るべければ本年度の世界銅產額は新記錄を見るに至るべし（大阪）

…[illegible]…せらるべしと大阪市銀行業者間に說かれをれり（大阪）

總督の諭告と吾人の覺悟

（三四）教育の普及

普通教育機關は此他尚ほ高等普通學校及び女子高等普通學校あり、進むで高等の普通教育を授くるものにして主として實科主義の教育を施し其の生活に必須なる知識技能を敎ゆると同時に、更に常識の涵養に勉め國民たるの性格を陶冶するに一層精深ならしめ以て中流社會に立つ可き忠良なる國民を育成するを主旨とす而して官立の高等學校及び女子高等普通學校には敎員育成の機關を設け普通學校の敎員たる可きものを養成し、各普通學校に配屬して兒童敎養の任に當らしむ、今本敎育機關の現在數を見るに官公私立男女校を合し八校にして其生徒數は男一千三百名女四百八十名、總計一千七百八十名の外京城高等普通學校所屬の臨時敎員養成所第一部生八十餘名を算せり

▲實業敎育は普通敎育と相俟て總督の最も力を致せる所にして健實なる思想を養ひ勤儉產を治し、以て社會國家の富源を增進せしむるは鮮人子弟の敎養上洵に刻下の急務と謂はざる可からず、本敎育は保護政治時代に於ても其緊切なるを認め、明治四十二年實業學校令を實施し其端を開きたりと雖も、經費の缺乏は施設經營に遺憾の點を免れざりしが、併合後に於ては更に其規則を改正して依準する處を明ならしむると共に、潤澤の經費を以て鋭意內容の充實と擴張に努め來れる結果、今や著しき發達を呈し、併合當時に在りては官立農林學校一、農業學校十一、商業學校三、簡易實業學校四に過ぎざりしも、今日にては官立農林學校一、農業學校十五、商業學校三、簡易實業學校六十六を數へ、生徒數亦三千八百餘名の多數を算するに至り大正三年三月、現計に依る卒業者は農林學校二百五十八人、農業學校九百二十八人、商業學校二百二十七人、簡易實業學校千五百五十四人に達し或は官公吏となり、或は實務に從事して低度の實業指導者となり、或は直接農商工業に從事する等實業の改善に寄與せる所鮮少ならず、就中現時の民度に於て最も心適の實業敎育機關と目さるゝ簡易實業學校が如上の發展を見るに至れるは、官吏本能の慣習を打破し、漸次健實なる實業的思想の普及し來れる證左にして吾人の慶賀措かざるところなり

專門敎育に就ては未だ敎育令に規定する專門學校の施設を見ずと雖も之れに類似の敎育機關には幾多私立學校の外官立には法制經濟の學科を授くるものに京城專修學校あり、醫學を授くるものに總督府醫院附屬の醫學講習所あり、工業敎育を施すものに中央試驗所附屬の工業傳習所等あり、既に年々幾多の卒業生を出し其成績極めて良好なるが、總督は普通敎育の普及と時勢の進運に鑑み、大正四年三月專門學校規則を發布して一般に亙り機關の改善を圖れる前己なる前記各官立學校に對しては更に其內容を充實し規模を擴張して之れを專門學校たらしむ可く大正五年度に於て實施を期せり、

斯の如く鮮人の敎育機關は上下に亙りて殆んど整備を極め、今や此地を離れて他に留學するが如き要を見ず、其敎養の本旨一貫し一として民士に適應せざるなく、依りて以て修身齊家の資たらしむ、誰か聖代の德政を謳はざるものあらむや

支那の鐵道（四）

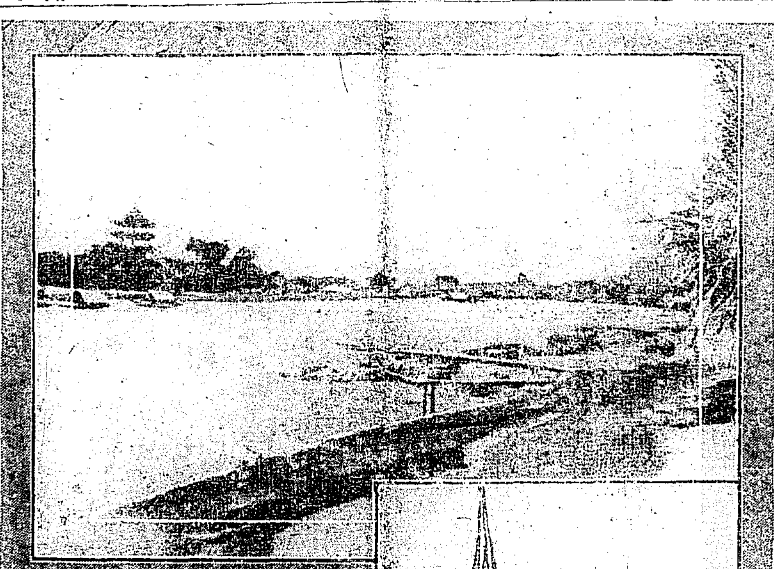
結論ー敷設史の時代別

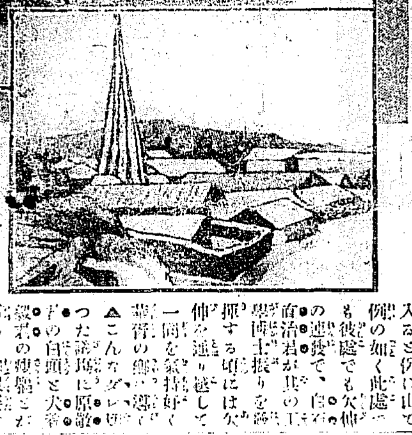
支那に於ける鐵道敷設の歷史を時代別にすれば便宜上之を四期となすを得べし、即ち最初に著手せられたる一八六三年より一八九四年に至る間を第一期とす、此時期は外國人が支那人をして鐵道を敷設せしめんとし盛んに運動を試みたる時なり、尤も外人の運動は餘り功を奏せざりき、此期間に外國技師の手により敷設せられたる二三線路もあれど司配權は支那人の握る所たり、又外人側には敷設權の獲得を企てたるものありしが竟に得る所なく、要するに此期間に於ける鐵道の發達は極めて遲々たりし也。

第二期は日淸戰爭の後を承けたる時期にして支那の威嚴失墜せし時に屬す、此期間に外國は爭ふて鐵道敷設權を獲得するに努めたり、當時支那政府の官紀紊れ官吏は敷設權を許與して自己の嚢中を肥さんと欲して敷設權を濫許したりしが、而かも此期間には京漢鐵道と北部諸線以外に實際工事に着手せるもの無く、權利獲得者の多くは投機者流にして、その敷設權を得たる目的は之を利用して間接に金儲けをなすにありき、されば此時期には敷設權に關聯する醜聞頗る多かりき。

日露役後一九一〇年迄を第三期と爲す、此期間には種々の鐵道の竣成を見、又外國政府が各國の敷設權者に與へたる後援多大なるものあり、而して此時期に於ける敷設權者は信用あり責任の念に富める者多く、彼等の間には可なり激しき競爭ありしも、鐵道の支配權が資金供給者の手に存すべきは一種の默契により定まり居たり、此の支配權は列國の手中に存せりと雖も彼等は注意して支那の主權を侵害せざるに努めたり、又此期間に支那の諸省は敷設經營の計畫を立てたるものありしも官線たる京漢鐵道を除く外殆ど總て失敗に歸せり、

一九一〇年以降を第四期とすべし、支那の革命亂は列國及び支那の態度をして全く變化せしめ、地方の鐵道計畫が失敗を重ね支那人經營の鐵道には私消事件續出せるより支那人側に鐵道の敷設經營を企つるもの絶え、且つ此時に至りては列强の要求する處過去に於けるより寬大となり、鐵道の敷設は政治問題としてよりも寧ろ經濟上の問題として取扱はるゝに至れり。之を此期の特色となす。斯くの如くして一九一二年より現今まで種々の重要なる線路敷設權の許可を見、而して何れの場合にも線路其ものを擔保とするに至れり、即ち開通の曉に營業より生ずる收益は先づ外債支拂の爲めに使用せらるべく、支那人は鐵道の經營上に於て過去よりは遙かに大なる發言權を得るに至れる也。吾人は支那の鐵道利權獲得の沿革及び現在の狀態に就て表面或は裏面より記すべく多くの興味ある問題を有すれども茲に此の結論を以て擱筆する事とせり。（完）





動亂地成都と自流井
（上）成都迴瀾塔を望む
（下）革命軍に占領されし自流井市街

議會覗き

東京支局　一記者

相變らずのダレ議會▲一時の振鈴が鳴つても議員の出足遲く▲先著の岡辰喜君などは開會前に欠伸を二ツやつて傍聽席を見上げると其處に知人が居たと見え大きな聲で『ヤ、昨夜は失敬、アッハヽヽ』なんかやらかす長閑さ▲傍聽席も五分の入りで貴族院議員席に徳川上院議長が昨今の風邪を餘所にして悠然として構へてござつたが餘りの手持無沙汰にフイと出て行かれる▲今日の餘興は先づ伊東知也君と島田議長の間に始まる▲伊東君登壇するや否や島田議長に『何うか今日は本員の發言に職權を加へないやうに願ひます』と言ひ放ちざま『議長は何故に本員の質問を抑壓せしめないか、不都合である』と權に强かに怒鳴り▲『こんなことは法學通論位を讀んだ者ならば判りさうなものだ』と毒突かるゝ▲饒舌議長默つてゐる筈がない、果して『法學通論を讀まれた方に是れ位のことの判りにならぬ筈はない』と『蒐返』は滿場大笑ひ▲愈々日程に入ると例に由て例の如く此處…[illegible]…も欠伸の連發で、…[illegible]…博士振りを發揮する頃には欠伸を…[illegible]…一同を氣持好く…[illegible]…▲こんなダレ切つた議場に原敬…[illegible]…の白頭と大…[illegible]…の痩軀とが何れも和服姿で議席に納つてたのは一寸人目を惹く▲加藤參政…[illegible]…が總相代理の椅子で登壇すると政友會側から猛烈に彌次的拍手を浴せたので原大…[illegible]…養の兩君は申合せたやうに懐つたいやうな微笑を見せ乍ら退場する▲同志會の幹部室には丸切り人間の臭ひがせぬので時節柄廊下鳶共は色々の揣摩臆測をやつてゐるが…[illegible]…ぞ知らん此の日片岡直温朝臣などは半日の好晴に乘じて千葉くんだりまで遠乘に出かけたとのこと▲政友會の控室では『現內閣の運命も愈々極まつたらしいよ』と眞面目臭つて吹聽し『實は株屋筋から聞いた情報だ』と斷はると▲古谷久綱君夫れを眞に受けて其の日の夕刊を二三枚穴のあく程睨んで相場欄に眼を通したが所謂內閣の運命が餘り響いてゐないので『何んだ馬鹿々々しい▲鉄臺廻つて中正會の控室では甲論乙駁泡の吹き競べは何事か…[illegible]…てるとナーンのこと…[illegible]…洋食論者と會席論者の食意地爭ひ▲ところへ花井卓藏君がヌーッと現はれ局外中立の支那料理說を持出し『支那を食い支那を飲むは時節柄痛快ぢやないか』とやると一同アッと感嘆して鳴を鎭めたは罪がない（二十七日夜記）

裏の港へ

金谷眞

スタール博士と同車して

京元線福溪驛より

牛耳洞の櫻

昨今の冬枯れ

…[illegible]…

三防驛より

の雪を戴いた連峰

…[illegible]…（二十八日午後一時十分記）

高原の雪は降り積り

…[illegible]…

此地に總督府が試育する蒙古の緬羊

…[illegible]…

『海拔一千九百尺』の標木

…[illegible]…

日報歌壇

青丘

□はね返るページ押へて呆然とふと物思ふこの頃のわれ
□君も吾も悲しき身なり窓により巷に注ぐ冬雨を聞く
□崖の上の道に佇み港見るつれなし今日も暮るゝ旅かな　のぼる
□旅先の一コーヒ屋の卓により疲れし膝を靜かになづる

株式會社 第一銀行 第三十九期營業報告

貸借對照表

負債ノ部	
一資本金	貳壹、五〇〇、〇〇〇・〇〇
一諸積立金	九、貳五〇、〇〇〇・〇〇
一諸預金	九參、七貳壹、壹〇八・八壹
定期預金	四壹、六六壹、四九貳・九七
當座預金	四七、八八五、參〇六・六六
諸預金	四、壹七四、參〇九・壹八
一仕拂送金手形	壹五七、八參五・四壹
一銀行券消却資金	五、五壹六、〇〇〇・〇〇
一本支店間未達勘定	壹、四貳七、四五八・八九
一他店勘定	貳、壹六貳、七五貳・四壹
一未拂配當金	壹壹、壹五八・七八
一前半季繰越金	七五七、貳四參・四貳
一當半季純益金	七八壹、貳參六・四八
合計	壹參五、貳八四、七九四・貳〇

資產ノ部	
一未拂込資本金	八、〇六貳、五〇〇・〇〇
一諸貸出金	八七、五七〇、參六六・壹參
定期貸	壹壹、五〇九、〇五九・七九
當座貸越	六、七參七、參參〇・參貳
割引手形	六七、八八參、九九六・壹參
荷爲替手形	壹、四參九、九七九・八九
一國債及地方債證券	貳壹、〇參六、參四七・四貳
一株券及社債券	參、五參〇、〇四九・壹七
一他店勘定	壹、九壹六、〇八〇・五八
一地所建物什器	貳、參六壹、貳八四・參〇
一新築費	壹八、六貳壹・八五
一預ケ金	壹、〇六九、參〇五・六九
一金銀在高	九、七貳〇、貳參九・〇六
合計	壹參五、貳八四、七九四・貳〇

利益金勘定

一當半季純益金	七八壹、貳參六・四八
一前半季繰越金	七五七、貳四參・四貳
合計	壹、五參八、四七九・九〇
內	
一役員賞與金	參九、〇六〇・〇〇
一行員恩給及退職給與金	壹五、六貳〇・〇〇
一積立金	壹〇〇、〇〇〇・〇〇
一舊株配當金（年一割）	五參七、五〇〇・〇〇
一新株配當金（年一割）	壹參四、參七五・〇〇
一後半季繰越金	七壹壹、九貳四・九〇

大正五年一月　東京市日本橋區兜町一番地　株式會社 第一銀行

頭取男爵 澁澤榮一
取締役男爵 三井八郎次郎
取締役 佐々木勇之助
取締役 熊谷辰太郎
取締役 日下義雄
取締役 佐々木愼思郎
監査役 土岐僙
監査役 尾高次郎

右各項調査ヲ遂ゲ其正確ナルヲ保證ス

追テ取締役佐々木愼思郎任期滿了ニ付改選致候處再選重任仕候

京城支店支配人 西村道彥

美味に富る珍菓品揃
新龍山漢江通三角公園前　陸軍御用製菓商　石見堂　電話三三一番

學生　二月號
獄裡の思出……河野廣中
皇室と農業……佐藤農林校長
米國の教育博物館……吉田博士
名士訪問記
ジョッフルとヒンデンブルグ……小泉奏南
日本町の研究……ペリイ氏
植物の冬……草野博士
雄辯家の養成……吉岡教授
洋の成功者
懸賞新案謎●學生新聞●學生グラフィック●駄句畫解
歷史小說 虎徹と定宗……大町桂月
一門の光榮……主筆 大町桂月
三千年前……江見水蔭
英語講話……太田學士
貧乏饗者……トム爺屋 西村醉夢
入藏記……河口慧海
定價 一冊十五錢　郵稅共　富山房

旅行案內代用　全國直通列車時間表添附
一日本
◎學生の革命（勉強法の）……和田垣
◎戰時中富山の反魂丹……宮城三郎
◎新大阪と舊大阪……泉秀
◎日本の大問題……志賀重昂
◎時評『汽車の白浪』……三遊亭小圓朝
◎新作『牛七宛其の附門』……一龍齋貞山
◎赤門系の人物……黑頭巾
◎鬼の研究……志手狸
◎滑稽北國めぐり……田
◎意外錄……和田垣博士
◎鹿兒島出身の五大名士……三田老浪士
◎議員投稿……第一回發表
◎溫泉投票……第四回發表
◎小說『奇骨女士』……江見水蔭
◎小說 女不二一……渡邊霞亭
◎組閣問題……天一
◎鐵道院の中樞人物……白眼
◎實業界の警戒時代……王
◎カーネギーの積富徑路……中野武營
◎議員淘汰問題……小野五
◎井上侯の報恩旅行……伊藤痴遊
定價一部二十錢　送料共　南北社發行

婦人畫報
陛下御親閱
竹田宮妃殿下　梨本宮妃殿下　東伏見宮妃殿下
◎此外名家の令嬢寫眞十數葉
◎白梅（新面用三頁大）……井川洗厓
◎煩悶の遣り場……新渡戸博士
◎年を取つた姑の心理……高島教授
◎日本及び日本の女……山路愛山氏
◎嫁入前に習つて置きたかつたこと
◎湯に入つた時の注意……佐々木博士
長篇小說 お夏……菊池幽芳氏
定價貳拾五錢　郵稅貳錢
東京京橋鍛冶橋外　東京社　振替四千九百番

◎政府對上院戰機熟す

上院は斥候戰より徐々論陣を進む 政府既に滿を引いて陣對を俟つ！

貴族院は益々愼重の態度を執り二十九日臨時軍事費に關係ある委員會の審議を了し三十一日午前十時豫算總會を開きて之れが結果を報告する事となりたるが既電臨時軍事費の附帶決議は三十一日の豫算總會に附し可決を俟つて院議に附せる上追加豫算案と共に政府に通告すべく斯くて斥候戰より漸次論陣を進め三日に至り公式に各派の態度を決す可く此處兩三日間こそ觀物にて貴族院と政府とは入り亂れて双方秘術を盡くし政戰の最高潮に達すべく世上の注視は此處に集注せらるべし而して茲に各方面の情報を綜合すれば遂に元問題に對し最早決戰の免る可からざるは言ふ迄もなく到底緩和の餘地なしと觀るを至當とすべく一方政府及び與黨の態度より觀察すれば既に戰意を明かにし貴族院の與意如何に拘はらず苟しくも豫算に關し反對の態度に出でんか飽く迄應戰して一擧に進退を決すべく而して政府は毫も交讓的態度の見るべきもの無き貴族院が其の與へられたる權能に依り豫算修正の擧に出づるは免る可らざる數なりとの信念を有せるを以て勢ひ兩院協議會迄押し詰むる外無く此の場合政府が與黨をして交渉せしむれば格別然らざれば貴族院は豫算不成立となるも最後の手段を盡したる後なるを以て其の結果に對し責任を負うものに非ずとなせるもの、如し（東京特電）

◎袁總統の龍濟光懷柔

廣西將軍と聯絡＝雲南盟約破棄

廣東よりの情報に據れば廣東將軍龍濟光は袁總統に懷柔せられ雲南討伐の爲め其兵を雲南の境に進むるものゝ如く廣西將軍陸榮廷も龍濟光と同一の態度を執り雲南との盟約を破棄せり尚ほ龍濟光が（脫文）に耳せられたるは注目に値す（北京電報）

◎雲南討伐費と各省分擔

北京政府にては雲南討伐費に就き財政部の財政非常に困難を告げ居るより大に當惑しつゝあるが之れが救濟策として右費用を左の如く各省に分擔せしむることゝせり（北京電報）

中央政府一千萬元、直隸、山東、江蘇、浙江各二十萬元、河南、湖南、湖北、廣東各十五萬元、四川、福建、安徽、江西各十萬元、奉天、吉林、山西、陝西各五萬元

◎袁總統の調停懇請

北京來電に依れば袁總統は帝政に關し英國公使ジヨルダン氏に調停の勞を執られんことを懇請せりと（上海電報）

◎米國と商船武裝問題

聯合各國へ廢止方通牒

紐育來電に據れば米國國務卿ランシング氏は新聞記者に向ひ米國は商船武裝問題に關して一外國又は數外國に通牒を送れりと述べたるがイーブニング、ポスト紙は右に關し報じて曰くランシング氏の聯合各國に送致せる覺書は商船武裝の廢止を請へるものにして其の實行と共に獨墺側に對しては無警告にて商船を擊沈せざるべき事並に商船破壞が正當なりとせらるゝ場合には船員及び船客を安全に退船せしむべき事を要求すべしと（倫敦來電）

◎米大統領の最後警告

華盛頓通信員は大統領の演說を以てベルンストルフ獨逸大使に對する最後の警告なりと認め獨逸はルシタニヤ問題に關して米國に滿足を與へざるべからざる場合に立ち至れりと云へり（倫敦電報）

◎米大統領の遊說開始

國防計畫辯護の爲め

紐育來電に據ればウキルソン大統領は政府の國防計畫辯護の爲め諸州遊說を開始せり氏は鐵道從業者に向つてなせる演說中余は何時にても他國の挑戰に應ずべし然れども余が戰爭を處理するに當つては公明正義を以てせんと欲すと喋々喝采を博せり（倫敦電報）

◎聯軍要塞占領

聯合軍はサロニカ灣頭なるカラバルナ要塞を占領せり（倫敦電報）

◎勅使御差遣

伊國大使危篤に付

葉山御用邸に御避寒中の天皇陛下には伊國大使病氣危篤の趣聞召され二十九日午後四時東園侍從を御使として差遣され大使夫人に御懇切なる御見舞を傳へられ尚皇后陛下にも午後四時東久世侍從を御使として御差遣御叮重なる御言葉を夫人に傳へしめられたり（東京特電）

◎支那外交未決案

北京政府は雲南事件より今後種々の外交案件惹起せんことを虞れ現在列國との未解決諸案件に就きて此際即決す可きは即決し不急案件は後日に讓るの方針なるやにて外交部に命じて之れを調査せしめたるに即決を要する分左の如しと（北京電報）

日本 二十八件中緊要三件
佛國 十三件中緊要三件
英國 八件中緊要五件
露國 六件中緊要二件
獨逸 二件中緊要
米國 一件緊要

◎立太子と御昇進

皇太子殿下には愈々來る四月立太子の盛典を擧げさせらるゝに付き常宮にては目下是が準備中の趣きにて來る十月三十一日天長節祝日當日陸海軍大尉に御昇進遊ばさるべしと拜承す尚伏見若宮、久邇宮、梨本宮各殿下にも右天長節祝日又は天長節當日海陸軍中將に御昇進の上師團長又は海軍の要職に御轉補せらるゝ由承る（東京特電）

◎露貨維持講究

露貨の下落は其後底止する處を知らずして昨今哈爾賓對上海爲替は銀百兩に露貨百二十三留と云ふ驚く可き相場を現し露清銀行は早くより露貨取組を停止せるが東清鐵道會社は露貨維持策講究の爲め數日前大會議を開きホルワート將軍代理を始め露清銀行總辨、第一、第二借款銀行總辨等列席して討議の結果左の數項を議定し直に實行することとせり（長春電報）

一、東清鐵道に由りて輸送する貨物運賃は一留金八錢替とすること
二、露清銀行及第一、第二借款銀行は毎週五十萬留を回收すること
三、露清及び借款銀行の貸出及預入金は總て露留八錢替とすること
四、露國政府に申請して黑龍州より金貨五百萬留を市場に放出すること
五、各露商に通告して貨物賣買に一切露貨を用ひ其銀との換算は總て露留八錢替となさしむること

◎瀆職上奏案

衆議院に於ける瀆職上奏案は二月一日の本會議に上程の筈なりしが都合に依り三日に變更さる（東京特電）

◎貿易保險案提出

政府は愈々二月上旬を以て官營貿易保險案を衆議院に提出すべし（東京特電）

◎日獨戰爭行賞

日獨戰爭行賞に就ては目下賞勳局に於て調査中にて遲くも來る二月二十日頃迄には發表さるべしとの事なるが神尾中將の功一級金鵄勳章及び旭日大綬章、堀內、山田兩少將の功二級金鵄勳章及び旭日重光章下賜は最早確定と見るも差支なきもの、如し（東京特電）

◎瑞西公使と田付氏

瑞西公使館開設の曉には駐佛代理大使たりし田付七太氏公使に任命せらるべしと（東京特電）

◎伊國大使輕快

伊國大使其後の容態は漸次快方に向ひ意識も稍々明瞭になり半身に起せる麻痺も癒え三十日朝はスープ一合許りと牛乳若干を攝取したり（東京特電）

◎砲彈大註文

大阪工廠にては今回某國より陸軍用八時砲彈（一彈金一千圓）五千個の大註文を受けたるものゝ如く桁內中將は本廠の命を含みて上京當局と打合せするところありたり（東京特電）

◎東拓移民（三）

江景出張所管內

（二）移民各自の成績（3）

▲副業の成績 移住民の副業として最も適當なるは製繩及び製筵の作業なりと認め殊に第一回より第四回に至る移住民百六十二戶中各希望者に對し製繩器十二臺製筵器三十臺を貸付け專ら之が製作を獎勵したる結果大正三年度に於ける成績は從業戶數八十一戶に對し其收入額千六百六十三圓即ち一戶當平均二十圓以上に達したるも時々販路の困難あり、價格の高低一ならず從つて其作業も冬期農閑の時に限られ罷に無爲徒食の惡弊を防止する程度に過ぎざりしが近來各地に叺擔作業勃興し是等生產品の需要非常に增加し最早販路に困難するの愛なきに至りたるのみならず價格も稍々格一するの傾向あるを以て今後益々從業者の增加を見其收入も一戶四五十圓を下らざるに至るべく移民中山梨團隊、三合團隊、中林團隊の如き時に此作業に精勵し居れり

▲教育衞生狀態 移住民收容地は相當に交通の便宜く兒童教育上既設學校に附近若くは新規學校建設に便利なる場所に在り、而して既設學校に對しては校舍增築の場合は相當の寄附をなし新設の場合は一時又は一定の年限間一定の金額を補助して移民の負擔を輕からしめ距離一里以上に及り通學に困難なる場合は最寄學校所在地に兒童預りて其經費を補助する等夫々適當なる設備をなせるが故に各自何れも其施設に滿足し就學者を督勵し居れり

移住地衞生上特に重要なるは飲料水の良否にあるを以て土地選定の際努めて其缺點なき方面を選び若し特に不完全なるか或は鮮人共同の使用上危險の虞ある場合は豫め相當設備をなし又は井戶を掘鑿せしめ之に對し相當費用の補助を爲し又罹病者ある場合は最寄開業醫又は病院に交渉して藥價の割引往診料の免除をなさしめ之に對し會社より相當の謝禮をなす等施設上遺憾なきを期したると、鮮人の各自氣候風土の相異せると衞生思想に缺如せるとに鑑み常に警戒を怠らざるが故に健康狀態極めて良好にして移民收容以來罹病者極めて尠く且此間扶餘郡恩山面、論山郡の病者の感染により赤痢に罹りたるもの十五名內七名の死亡者を出したるを遺憾とす

◎米價逐日下落

平壤一月中の米取引狀況を聞くに年末年始の關係上小農家は何れも手持品を放賣したる爲め賣放物は年末に於て殆んど一段落を告げたるに一方大農家及び手持筋は尙は先高を樂觀して容易に賣應せざる爲め人氣引緩を呈し手合せ行はれず昨今は殆ど取引沈滯して活氣無きに至れり其の結果米價は情勢に驅られて各等共に日を趁ふて下落したり今五日以降の米價を揭ぐれば左の如し

	五日	十五日	廿五日	平均
籾上	四、九〇	四、八〇	四、七〇	四、八〇
同中	四、七〇	四、七〇	四、五〇	四、六三
同下	四、五〇	四、五〇	四、三〇	四、四三
玄米上	一一、〇〇	一一、〇〇	一〇、五〇	一〇、八三
同中	一〇、五〇	一〇、五〇	一〇、〇〇	一〇、三三
同下	一〇、〇〇	一〇、〇〇	九、五〇	九、八三
精米上	一三、〇〇	一三、〇〇	一二、五〇	一二、八三
同中	一二、七〇	一二、七〇	一二、二〇	一二、五三
同下	一二、五〇	一二、五〇	一二、〇〇	一二、三三

因に右表中品位の標準は內地及び滿洲方面、內地人向として輸移出されたる者を上とし中等以下は鮮人向を以てしたり（平壤）

◎日滿聯絡貨物運輸

昨年中の成績（續）

▲驛別數量 次に發着驛別に見る時は左表の如く朝鮮及び日本內地の發共著驛は全部哈爾賓一驛に限られ之を大正三年中の齊々哈爾、浦鹽斯德等にも多少の發着ありしに比すれば寂寞の感なきを免れずと雖も之れは時局の爲め哈爾賓以遠著貨物の取扱を中止したることあり又哈爾賓以外各地との取引困難なる事情あるにも困るなるべし

朝鮮發	釜山發哈爾賓著	一、三二一噸二
	南大門發同	[illegible]
	仁川發同	[illegible]
	平壤發同	[illegible]
	新義州發同	[illegible]
	計	一、〇六四、一
日本內地發	大阪發哈爾賓著	五二四、六
	神戶發同	六六二、六
	門司發同	一四〇、九
	四日市發同	一四六、九
	計	一、五六九、二
日本內地著	哈爾賓發大阪著	五二六、九
	同神戶著	一、八
	計	四〇三、〇二八

▲發著貨物品種 更に之を貨物品種別に調査すれば朝鮮發は白米六五八噸一を第一とし質に前年に比し十二割二分の增加を見他は少量の雜貨、鰊、鰕等にして日本內地發は

綿布	三五九、一	白米	八二〇、二
綿絲	二七七、九	紙	二七三、三
襯衣	一八五、三	麥粉用袋	一六五、五
綿莫大小	二九、九	西洋手拭	四一、六
綿製品	三三、二	古新聞	二五、七
和傘	三五、三	鐵製品	二二、六
帽子	二九、六	花蓙	二二、三
雜貨	二〇、五	行李	二七、四

等を其主なるものとし就中綿布は前年に比し三割七分、綿絲十一割五分、襯衣十一割九分、麥粉用袋三十割九分の增加を示し特に白米は全部朝鮮及び臺灣產にして本年二月初め以來漸次增進して重要貨物の一たるに至りたるものなり、藥品、綿等と共に露國軍需品なりと傳ふるもの又た粉代用品として一般の需要を喚起し

▲之を要するに 本聯絡運輸は開始後未だ二箇年を閱せしに過ぎず加之時局に伴ふ露貨相場の動搖甚だしく取引上の安定を得る難かりしと雖も然も前述の成績を示すを得たるは彼我貿易狀態が漸次密接の度を加へつゝあるを證するものと云ふを得べし特に關係運輸機關に於ては新

◎大阪より

▲朝鮮米入津激增 近時朝鮮米の大阪に入津するもの多く今日にては既に倉庫の置場にも困る有樣にて大阪電燈の幸町道頓堀の發電所跡の建物まで倉庫として利用さるゝに至り其外幸くも倉庫として利用し得べき建物は大概は之に充てられ今後の入津の處分に窮しつゝあり若し昨今唱へられつゝある定期渡米にして北陸及び奥州米三四萬石の入津するあらば現在にてさへ倉庫の餘地なき此の上入津は如何に處置すべきか倉庫側にても貨物の出入頻繁ならば相當の利益を得べきも入庫のまゝ居据の姿なれば倉庫の充實も割合に收入を增加せず入庫多く出庫少きは當業者も當惑しつゝありと云ふ因に昨今倉庫の出入は入庫の五に對し出庫一の割合なりと

▲支那商人困憊 雲南省の革命軍は既に敍州府を陷ゐれ四川の鍵鑰を壟斷せるの形に至りたれば更でも上海より同省に對する商取引は戒を怠らざりしに事態斯くなれるを以て爲替取組は阻止され貨物の上海市場の停滯は夥しく四川商人の仕入のため同所にあるものは拱手形勢の推移に任かすもの、如く之が爲め內地支那商は賣掛代金の回收に困難を來たし動亂の影響に當惑を喞ち居れりと

▲電氣發達と石炭界 日に月に電氣事業の發達は驚く可き程の割合を示せるが之と同時に從來石炭を使用せる各工場が漸次電力を使用するの傾向を呈せるは一面に於て寄何ともすべからざるべし電氣界も從來の如く火力電氣が其大部分を占むれば又しも漸次水力電氣の多きを加ふるの傾向ある今日石炭の需要は減退しこるべき運命に際せりされど陸上作業は兎も角海上作業は如何にても大舞臺になれば爲る程石炭に依らざる可からざるの趨勢に在るを以て當業者は今後其の望を海運事業に屬し居り戰後海運界の活動は益々石炭の需要を喚起し斯界の隆盛を期待し居れり要するに陸上に其權を讓りし石炭界は電氣事業の發達と共に減退さるゝは又如何ともすべからざる狀勢の下にありと云ふべし（支局發）

婦人世界

村井弦齋考案 日本料理改良意見
結婚問題に付父と娘の衝突
如何に解決するか……新渡戶博士
着物と羽織の襟のつけ方
鰹節鷄卵の品の善惡見別方
子を愛する方法
事實小說 雪中梅……下田歌子
家庭小說 龍卷……渡邊霞亭
歷史に名高き名家の子孫調
懸賞當選小說 みをつくし 一等當選者……長谷川時雨女史
日本新三景第五回發表
一日一善日記の好成績 大阪郵便局長 山田重郎
名家の雜巾法
經濟の暮し方
二月號發行 定價一冊十五錢 東京京橋區南紺屋町 實業之日本社

▲小杉天外先生新著 銀笛 下之卷
堅く心と心に契ひし純潔の青年と憐の少女多美子との運命や如何に！既に華族の令息との婚約成りしたりしに、呼其夜の椿事！
鏑木清方畫伯口繪
大好評 忽三版 定價壹圓參拾錢 郵稅八錢
東京京橋 實業之日本社

料理の友 溫かい料理滿載 二月號
▲簡易生活と共稼ぎ ▲豐な暮し方 ▲上品な豚肉料理五十種 ▲溫い晩餐獻立 ▲紀元節祝賀立食 ▲溫い鍋料理 ▲經濟で美味な乾物料理 ▲手輕い美味い茶碗蒸 ▲溫い豆腐料理 ▲一品十錢以下で出來る食道樂會
大日本料理研究會

善隣商業學校
本科 生徒募集 （內地人）（朝鮮人）第一年六十名 資格 高等小學校卒業又ハ中學二年修了程度 但シ高等普通學校二年修了及公立普通學校卒業ノ優等者ハ無試驗
夜學 內地人 專修科八十名 資格 尋常小學校卒業者又ハ同程度 高等科五十名 資格 專修科卒業者又ハ同程度
出願 三月二十五日限 京城

◎東三省と鹽銀

東三省に於ては[illegible]業者の金融に資すると與に鹽業銀行の發展を圖る由にて目下決定せる分[illegible]

◎從兄弟の賊

京城二村洞[illegible]某は更に之を龍山元町一丁目の某古物屋に賣却したる所を龍山憲兵分隊の[illegible]目下取調中なるが[illegible]本月十五日西大門監獄を出獄したるのみにて其後京龍各地を徘徊し二十七日午後五時頃京城蓬萊町の某內地人[illegible]

◎鮮人の僞名

大阪より蛟龍丸に乘りし全南羅州鮮人鄭奉石、鄭[illegible]、金在彥の三名は安本潤吉[illegible]と僞名し[illegible]時三十四分松汀里驛を發したる列車が同三時頃夢灘驛手前二哩の地點を疾走中七八間前の線路を橫斷せんとするものあるより[illegible]

[illegible]は汎く北滿より內外蒙古一帶に消費[illegible]されて其收税も毎年巨額に上れるが北京政府は北京勸業銀行の好成績なるに鑑み同行分店を同地に開設して鹽[illegible]

◉棉業獎勵實行

支那政府が國產の要素として棉業の[illegible]所に[illegible]の四所に出張所[illegible]し[illegible]可しと[illegible]し所長陶昌[illegible]も略定せり

[illegible]じ汎く斯界の[illegible]始め委員の[illegible]

◉魚代二百圓

長崎縣生れ住[illegible]山憲兵分隊の手[illegible]調中

[illegible]の砂糖販賣の途絶えしとて[illegible]の後乃身なる趙[illegible]き情を告げ[illegible]六十錢に賣却したり[illegible]方に持ち行[illegible]にしてたる[illegible]者なりと[illegible]たるものなるが龍山憲兵分隊の手に取押へられ餘罪ある見込にて目下取調中

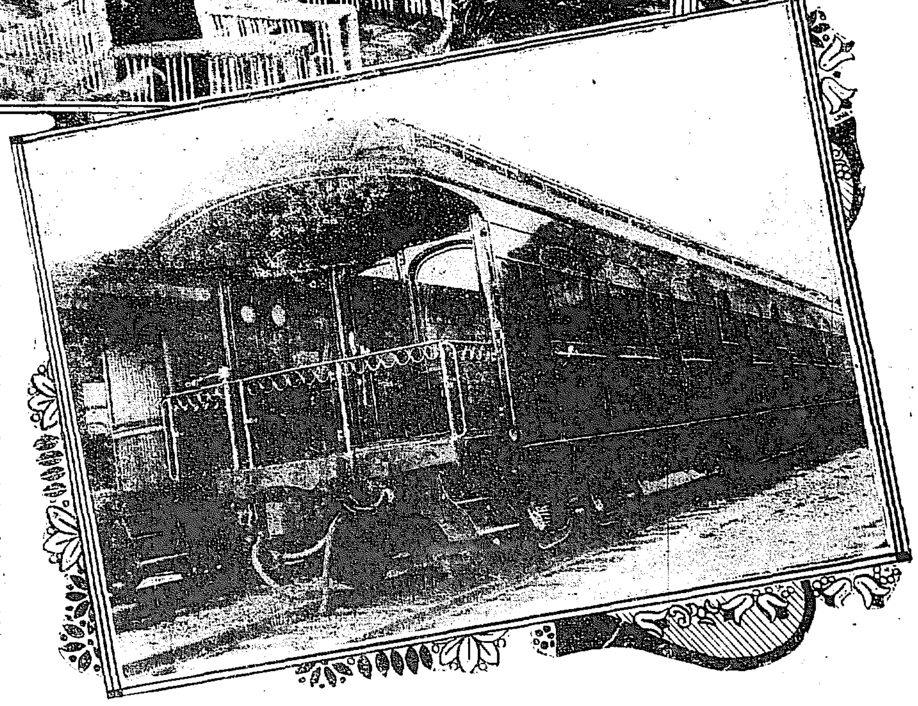
◉直ぐ逆戻り

住所不定の貧[illegible]春英(二)は窃盜前科三犯の曲者にて[illegible]も拘留七日に處せられたり

◉鎮者の轢死

廿六日午後二[illegible]郡九津面鶴洞崔仁柱(三)と云ふ[illegible]無慘の轢死を遂げたり右鮮人は務安[illegible]片目其上跛と云ふ不具者なりと[illegible]たるも間に合はず終に隋力の爲めに[illegible]

露國太公御召列車及び其の內部



◉一路御平安

太公殿下御退京

午餐會を午後二時十五分に終らせられたる後の太公殿下には暫時御居間にて寺內總督及び白井武官と御歡談を交せ給ひたるが三時五十二分總督官邸に御成りの際と同樣の御行列にて京城に向けせられ西大門外なる露國正教會堂に御著司教と御接見の上會堂にて御禮拜あり更らに四時三十分車頭を轉じて貞洞なる露國領事館にと入らせられたり同領事館にては豫て正面を入つて左側の大廣間を殿下の御休憩所に充て參らせ此處にて御茶を召上りつゝ總領事より事務の大要を御耳に達したる後四時五十分元の御通路を經て御旅館に歸還あらせられたり

▲お別れの御晩餐

京城市內の御順覽を終へさせられたる殿下には聊かも御疲勞の態もあらせられず六時五分御旅館に御歸著後は階上の御居間にて御休憩遊しつゝ靜かに暮れ行く異鄕の景色を懷しとや思しけん隨員の方々を御側に召され種々御物語りあり軈て七時二十分ともなるやこゝに御別れの晩餐は階下の食堂にて催され接伴員隨員御陪食を承はり殿下には接伴員の勞苦を思召されいと有難き御言葉あり御滿足の裡に八時半食堂を閉ぢさせられたり

▲龍山驛御發車

露太公殿下には御入京以來約二十七時間の御滯京にて三十日午後九時龍山驛御發程と承り寺內接伴委員長其他の人々は午後七時頃より御旅館に伺候し御出發に要する各般の準備を整へ參らせたり停車場には八時五十分迄に各文武の高等官約二百餘名御見送のため參集し六輛連結の特別列車も亦機鑵を焚いて何れも殿下の御著を待ち參らす

▼嚴重なる警衛

此日三更に入りて漢江の川風面を刺す心地するにも拘らず龍山の府民は榮ある國賓の御出發を送り奉らんとて驛前に集る者數千、驛の內外に於ける警戒は御到著當時と略同樣の順序にて嚴重を極む折から御豫定に遅るゝこと五分にして九時五分寺內總督

御同乘申上げたる一臺の自動車は音もなく驛前に到著、續て接伴員隨員の自動車また來り直ちに龍山驛長大屋鐵道局長官、寺內總督等御先導申上げ太公殿下は隨員を從へさせられ第二プラットフォームに向はせられたり、此處には第卅八聯隊の步兵一箇分隊整列して殿下の御著と共に『氣を付け！捧げ銃』の一令にて劉喨たる喇叭を吹奏し敬禮し奉れば殿下は分隊の前に立たせられ最と御鄭重なる御答禮あり

▼鄭重なる御挨拶

此より殿下は寺內總督と御談笑あらせられつゝプラットフォームに堵列せる文武諸官及民間代表者の前に步を停めさせられ一同の敬禮に對し一々擧手又は御注目の御答禮ありたるが更に諸員に對し殿下には佛蘭西語にて寺內總督を通じ『有り難う』と御叮嚀なる御挨拶の御言葉を賜ひ夫より京城駐劄總領事及び京城、清津、釜山等より奉送せる各國領事等に對し何事か御物語あり最後に在鄕軍人及び現役武官の一列に對して御答禮あらせられたる上特別列車の最後に連結せる貴賓車にと召させられ寺內總督、白井武官及び二三の隨員御同乘申し上ぐ、殿下には僅か二十有七時間の御滯在にておはしたれども官民至誠の御迎送には逍に御名殘や惜しかりけん南山の彼方漢江の邊を御指し給ひながら寺內總督と御物語あり總督の御答に對しては一々御元氣なる御言葉にて『然り』と御會釋あらせられたり

▼御名殘を惜ませらる

時に九時五分、折柄の沈默を破つて一聲高く發車合圖の吹笛鳴り渡るや御召列車は滑るが如く除行し始め殿下には寺內總督と共に最後の展望臺に起たせられ又もや一々奉送の官民に對し御會釋を給ひたるが就中露國領事館の人々に對しては露語にて『さらばよ、健在なれ』と特別の御言葉をかけさせられ領事團の人々も御使命を終へて故國に急がせ給ふ殿下と御別れを惜み參らせてか二三步前に進み出で、『殿下よ、御健在にて在しませ』と奉送し列車の進むにつれて後を追ひ赤燈の見えずなるまでも煙の消ゆる頃迄も御後を慕ひたるは軍國多事の折柄さもこそと思はしめたり斯て御召列車は無事京城を離れたるが服部警務部長、有賀第一部長等も開城迄奉送せり

◉松田男銅像除幕式

靜子未亡人の手にて紅白の幕を除く

司法大臣官邸に建設中なりし前司法大臣松田正久氏の銅像除幕式は三十日午前十時行はれ奏樂裡に靜子未亡人の手に紅白の幕は除かるれば急霰の如き拍手の裡に活けるが如き故人の銅像顯はれ式後立食の饗應あり大隈首相其他各大臣名士數百名の來賓ありたり(東京特電)

◉白銀造の丸木船

新西蘭軍より軍艦伊吹に贈る

ニュージーランド遠征軍の將卒は醵金して丸木船に乘るマオリ人の銀像重量二百オンスを作製しニュージーランド軍が埃及に赴く途中其の護衛の任に當りたる日本軍艦伊吹の將校に贈呈せりニュージーランドよりの英本國代表者は在倫敦日本大使の手を經て贈呈の手續を爲すべし(倫敦電報)

◉朝鮮撞球選手大會

非常なる盛況=夜を徹して爭ふ

七球にて五百點を撞き切る

百點以上の撞手を以て限られた撞球選手競技大會は既報の如く二十九日午後から壽町諸俱樂部に開かれた、集まる者眞鍋(五〇〇)韓(五〇〇)藤本(四〇〇)玉吉(四〇〇)平壤より參加せる田村(三五〇)大津(二五〇)黃州より來京せる横井(二五〇)中村(時章)中野(二〇〇)の諸氏の外

◈最低百點まで

選手の來會する者三十餘名、特に今回の選手會は眞に善良なる意味に於いて稍々理想的なりし關係より市中各俱樂部より代表的選手進んで出場し且つ眞鍋、藤本、韓氏の如き高點者の加はるなどありて競技は徹頭徹尾紳士的に行はれ聊かも不德義又は狂燥の風莫かりしは參觀者をして好感を抱かしめたり本會をして斯く所期の目的を達せしめ得たるは發起人たる渡邊、中野、戶松氏等の盡力斡旋に與かるもの多し、競技は總べて

◈二人對戰にて

孰れも腕に覺えの者のみの事とて最初より正々堂々の陣を布いて開始さる、二十九日は中村時章、中野、大津氏等最も奮ひたるも六勝なく中野(二〇〇)井田(一九〇)大津(二五〇)李泰奭(一〇〇)氏等惡戰苦鬪五勝まで漕ぎつけたるも大津、戶松(一三〇)同、吉村(一八〇)氏の責任選手に敗れ遂に六勝者なく卅日に入れり、此日は前夜來の健鬪に多少疲勞の模樣ありしも依然として奮ひ平井(一〇〇)吉村氏等の六勝者を出して

◈漸く活氣を生

じ來り灯頭になるに及び眞鍋(五〇〇)玉吉(四〇〇)兩氏の對戰あり玉吉氏の突出しにて各七棒の內各零一回あり双方意氣揚らざりしが四棒目玉吉氏七十八點を得、樂なる大廻に失敗せるより眞鍋氏の奮起となり百十一、八十五、七十二と突き進み六棒玉吉氏の六十五點を得て簡單なる引を仕損じたるあとを受けて殘點百零四を突切り次いで韓(五〇〇)との對戰ありしも眞鍋氏の勝となれり此の時より興愈々加はり來れるもの丶如く宛かも春の光に浴せる靑草原に小羊の嬉戲せるにも似て羅紗盤上、紅白の牙玉

◈互ひに縺れて

平和なる響きは午前二時を過ぐるも盡きず最後に一等賞の月桂冠を得べく夜を徹して勝敗を爭ひたるは壯觀なりき、因みに副賞品として本社より銀牌三箇を寄贈せる外各方面より賞品の寄贈ありたり

◉眼を海に放て!!(承前)

練習艦隊司令官 松村海軍少將談

何處迄行つたら止るか夫れは殆ど想像がつかない併し如何に精銳な武器が發明されたとしても總てに於ける均整した發達で無い以上大勢力と成り得ない事も明かで然も一國の海軍と云ふ事になれば必ず

◇經濟問題も伴つて來る我國に於ても調査委員が出來て斷えず充分に海外の事を調査し我海軍の進むべき道に就て協議を凝らし適宜の處置に出でつゝある元來八四艦隊とか八八艦隊とか云ふ事も決して今日初まつた事ではなく幾多の先輩が嘗て決した事なのだが財力の乏しさは今日迄奈何とも爲し得なかつたのだ

◇八八艦隊が完成すれば日本の海軍力も多少纏つた防備と成り得る第一戰から斷ず勝ち續ける事は出來なくても一定の成案は立てる事が出來る樣に成る斯く一方に於ては盛に機械力の完備を期す一方には益人間の養成に努めつゝある獨逸の海軍は今も云ふ樣に英に比すれば劣つてゐるけれども軍人の氣魄なり活動力の敏活さには大に恐るべきものがある我海軍にしても八八艦隊が出來るとすれば英國には成り得ないとしても獨逸とは成り得る而して我帝國の軍人には

◇誇るべき大和魂がある以て戰後の大勢に處して行くべく充分の力量と氣量とがある譯であるから今後益々國光を發揮して行く事に努めねばならない

◉羅馬法王特使長崎著發

大典祝賀の獻品は高價なる美術品

羅馬法王特使ペトレリー氏一行は三十日午前八時地洋丸にて無事長崎港著同地天主教司教コンパス氏始め多數の官民は特に本船に出迎へ歡迎の辭を呈し一行は午後四時解纜直ちに神戶に向け出帆せり祝賀の獻品は高價なる美術品なりと(長崎特電)

◉日蓮宗の寒行と星祭　旭町三丁目日蓮宗護國寺にては寒中毎夜午後七時より寒行及び星祭祈禱あり終て希望者には御經を散投すと尚希望者には年內安全の祈禱御札を授與する由

▲廣告▼

第五期決算報告

貸借對照表

資產

未拂込資本金	貸附金	當座貸越	割引手形	預ケ金	假拂金	他店へ貸	諸證券	地所建物什器	所有不動產	金銀	合計
六五〇、〇〇〇、〇〇	貳壹九、貳參六、七壹	五八、〇四〇、貳參	貳九九、四七貳、壹壹	四、貳八參、參參	壹壹、四〇七、壹壹	七、貳九壹、五九	五、九貳貳、〇〇	貳貳、九五〇、〇〇	貳四四、〇八九、貳〇	貳五、貳八五、貳八	壹、五四七、九七七、五六

負債

資本金	積立金	滯貸準備金	諸預金	借入金	前半季繰越金	當期純益金	合計
壹、〇〇〇、〇〇〇、〇〇	七八、七〇〇、〇〇	貳壹、五〇〇、〇〇	貳九八、參八五、四〇	壹參六、四貳六、〇五	壹、五〇壹、貳九	壹壹、四六四、八貳	壹、五四七、九七七、五六

一金參萬七千四百貳拾六圓八拾六錢　當期總益金
一金貳萬五千九百六拾貳圓四錢　當期總損金
差引
金壹萬壹千四百六拾四圓八拾貳錢　純益金
金壹千五百壹圓貳拾九錢　前期繰越金
合計金壹萬貳千九百六拾六圓拾壹錢
此配當計算左ノ如シ
金六百圓也　積立金
金參百六拾圓也　役員賞與金及交際費
金壹萬五百圓也　配當金(年六分)
金壹千五百六圓拾壹錢也　後期繰越金
右之通リ候也
京城本町貳丁目五拾壹番地
株式會社 京城銀行
取締役頭取 中村再造
取締役 山口太兵衛
同 關繁太郎
同 古城管堂
同 和田常市
支配人 弓場重榮
前記各項ノ調査ヲ遂ケ其正確ナルコトヲ保證候也
監査役 古城梅溪
同 梶原末太郎
同 秋吉富太郎

新刊書御案內

書名	著者	定價
◉日本書畫骨董大辭典	池田常太郎	特一、三〇
◉格言大辭典	芳賀矢一	特二、二〇
◉肥料的麥作改良法	鈴木千代吉	一、六五
◉小學校に於ける教育教授の實務	澤正	一、五〇
◉小資商店廣告法	清水正巳	九〇
◉新聞雜誌廣告術	[illegible]	五〇
◉新倫語	村上俊藏	特一、二五
◉通俗講話四季の衞生	枝元長夫	八五
◉商家經濟中流生活法	惠悅孝子	八〇
◉我等何を爲す可きか	加藤一夫	一、六〇
◉隱元、木庵、即非	高橋竹迷	一、〇〇
◉詩傳乃木大將	兒玉花外	八〇
◉日蓮上人	熊田葦城	一、三〇
◉戀の秘訣	紅葉樵人	五〇
◉女性中心説	レスターウォード	七五
◉貧乏と戀と	安成二郎	六〇
◉歐州文壇印象記	野口米次郎	一、〇〇
◉虞美人草	夏目金之助	一、二〇
◉鏡花双紙	泉鏡太郎	一、二〇
◉朱葉集	與謝野晶子	一、〇〇
◉歸響	長崎騎兵中尉	八〇
◉十字路	[illegible]井大尉	一、二〇

大阪屋號書店　京城本町電話一〇八六番振替京城一二五七三

朝鮮總督府濟生院

當院盲啞部ニ於テ本年四月入學セシムヘキ盲啞生徒ヲ左ノ通募集ス入院希望者ハ一月二十九日以降發行ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ
一給費生　盲啞男女　十一名
一自費生　同　十一名
大正五年一月廿九日

入院隨意　京城南大門通三丁目(藤木商店横入る)　胃腸病院　電話一六五九番　院主 佐々木杏造

京日案內

普通　一回前金三十錢(無割引)　匿名一回毎に金五錢增

◉給仕募集　齡十七八歲小學卒業以上市內要確實保證人午前履歷書携帶來談　旭町一上る電一二五〇　朝鮮雜誌社

◉看護婦募集　希望者は履歷書携帶來談あれ　南大門通三藤木商店横入　胃腸病院 296

◉看護婦募集　派遣多忙に付免狀を有する者至急本會に申込れたし　南山町一電一四四一　中央看護婦會 305

◉國漢文數學及朝鮮語一般受驗準備速成教授(夜學)　大漢門前　國語普及學舘 304

番外　一回前金六十錢(無割引)　匿名一回毎に金五錢增

京城日報　創刊號より四十五年末迄取揃へ相當代價に讓受たし(住所姓名希望)

皮膚病 花柳病　專門 須古醫院　京城永樂町一商品陳列館前の上　電話二〇三番 243

ヴァイオリン教授　從來通學習なる授教す日下入會好期　京城本町一丁目元明治町勸商場跡　四絃會 218

◉恩給年金退隱料扶助料長期低利即時立替地方者便法あり手數料契約にて無手數料　京城永樂町一丁目　種苗販賣　朝鮮種苗　306

◉恩給年金類長期立換短期無保險地方在住者上京に不及便法あり其他確保信用貸仕候　京城南大門外　江州屋 219

◉恩給年金類低利長期立換短期　京城大門外御成町　山口屋 224

恩給年金類立替　京城武橋町二十三番地(京城日報社北右に入)　電話二二八三番　國江商會 225

公證人　京城永樂町二丁目十七番地　山邊勇輔　電話二八四番 244

結核及注射療法 古賀液注射(入院隨意)　京城南山町二丁目　松岡醫院　電話六七五番 261

キャラメルは…藤商會の(割引券附)人蔘キャラメル…に限る…本品は至る所の食料品店菓子店に販賣し居れり 291

姙婦產婦御預り　經費僅少出產安全致升　申込次第入院案內書送呈　京城產婆院　南山町二の卅五　電話取次一三三九 299

千生瓢 (111)

須藤南翠作　筒井年峰畫

長蛇を逸す（七）

權六勝久かくと聞いて莞爾とうち笑むだ

『落つるとは、何たる無禮ぞ。勝久は筑前守に面會せんと存じて、本陣へ參る處ぢや、其方此れより案内致せ』と廣言した。

片桐貞盛近々と馬を寄せて、

『流石は鬼柴田殿が公達おざる。不肖ながら片桐助作、いざ御案内申し上ぐる』と、槍うち振つて立ち向つた。

夫と見るより勝久が後に控へた毛家新内、豐島猪兵衛の二勇士、勝久が前に立ち塞がつて、等しく槍を扱す槍の勢ひ、猪兵衛が勝負をしたゝかに躁いたので、無念と一聲叫ぶを名殘りに、撞と地上に仆るゝのであつた。

それと見た毛家新内は、鋭き助作の槍先を引つ外し、權六勝久の馬に一鞭くれながら、何處ともなく落ちて行く。助作之を逃さじと、二三丁は追つ驅けたが、此時夜の引明け方にて、天の明るみたる代りに地上は却つて暗かつたので、穴しく良禽を見失ふて、孫六が處まで引き回しこゝにて敵を待ち受けた。

然る處に一隊の武者蓊然として殺到して來た。

『其なるは筑前守が手の者か、柴田

き來る。上方勢の中より、加藤孫六嘉明馬を進めて片桐に加勢する。助作、勝久を孫六に渡して、自分は毛家、豐島に渡り合ひ、左右に應じて戰ふた。

其時豐島猪兵衛は、片桐を打ち棄て、主に代つて孫六に立ち向ふ。孫六嘉明きつと見て、

『やあ、其方は豐島猪兵衛か。見識つたるぞ』と呼ばりながら、只だ一突きと突き出す。

豐島も聞ゆる剛の者である。稻妻の如き槍先を巧みに外して、手繰の太刀をうち揮り〳〵、表も觸らず切りかゝる。孫六が突き來る槍、猪兵衛が拂ふて切り込む太刀、一上一下と閃めいて、雄戰力鬪、いつ勝敗の決すべしとも思はれなかつたが、猪兵衛が焦燥つて切り込む太刀を、孫六巧に空を切らせて、えいと突き出

三左衛門勝政、筑前が本陣へ通るぞ。陣所は何所ぢや、速かに案内仕つれ』と大音聲に呼はつて、其勢百騎ばかり、揉みに揉んで馳せ來たつた。賤ケ坂甚内安治、三四千騎に驅け向ひ、

『此敵は我等の掛合ぢや。皆ひ申すぞ』と聲をかけて、無二無三に驅け崩す。

寄手は土地不案内である。味方は地の理を諳じて居る。足下暗い引明方の戰ひに、北國勢は勇猛に戰ふたが、或は木の根に躓き、或ひは岸角に足を失ふて、倒るゝ所を乘りかゝつて切り殺され、その踏み誤つて、崖に墜ち、谿に轉じ、既に五六十騎は討ち死した。されど、孰れも今日を最後と意を決した戰ひであるから、親子兄弟の差別なく、踏るゝ屍骸を踏み踰え、飛び踰え、喚き叫んで奮戰する。上方勢は案内を利用して、此處の谷際より切つて出で、彼處の祠より突きかゝり、さし詰めひき詰め射立てたので、此處まで來たつた越前勢は、唯だ一人の命を全うした者はなく、皆悉く討ち死にを遂げたのである。かゝる中に不思議に一命を保つて此危險界を脱したのは、柴田三左衛門勝政であつたが、勝敗は剩さじ、勝家が本陣據まで押寄せよやとて、此勢に勝ち誇つて進み行く。時に夜は既に明けはなれて、卯月二十一日の紅暾、朧雲を破つて美しうさし昇つた。三左衛門勝政は行く行く敗兵を纏めて見るに、まだ三百餘騎はある。我も柴田修理亮が甥子、佐久間玄蕃允が弟、此れだけの勢を擁して、落延びて何とせう。死所は筑前守の本陣であると、頽勢を挽回して死狂ひして進む所に、渡邊勘兵衛に遮斷られ、これと雌雄を決する時

雜兵姿に扮したる加藤虎之助清正と槍を合せて、首級を此若者に授けたのは、實に此時であつた。

入院隨意（診察夜九時迄）
泌尿器病 腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔疾 痳疾 皮膚病 專門
永樂町二丁目 金光教會隣
安部醫院 電話四一九番

自材新式 各務材 卸商 高木材木店

湖南線松汀里 蘆風吟社 第一回 第二回 詠草

和歌兼題 山家元旦

初日の出めてたきみ代のほき言を鼠ひかはする山里の家　植野伊作

空なから明くる山家の初日影空も長閑に川鳴くなる　秀島飛雄

世の塵に沒きみ山の伏家にも初日麗かに光さすなり　松田稔

初日の出み山の奥の一つ家も照り渡りたるみ代ぞ賢こき　林和作

人訪はぬ山の庵も今日こそは神にまさる初日さすなれ　宮崎茂光

門松

色かへぬ松の契をことほきて門に飾れる今日の嬉しさ　林和作

立つる日はさこそ思はれ門松の明けての色の長閑なる哉　松田稔

門毎に立てし緑の若松は千歳を祝ふこゝろなりけり　秀島飛雄

門毎に飾へる松の緑葉は幾千代かけて榮えゆかむ　植野伊作

門前に立つる緑の松か枝に千代の榮えのかゝはこもれり　宮崎茂光

常盤 早梅

白雪の消え殘りたるませ垣に早や白梅の咲き出にける　松田稔

窓あけて匂へる方を眺むれば軒端ち近く早咲きの梅　秀島飛雄

今朝見れば庭の早梅さきそめて薫り誘ふ春風の吹く　林和作

冬なから高の花にさきかけて龍床しき庭の早梅　植野伊作

春風に綻び初めし紅の梅の蕾のうつくしきかな　土居まつゑ

去年さして今も眺むる床の梅咲は早くもさみにけり　宮崎茂光

若菜

卽わけて若菜摘める少女子の袖にちらある年の初風　植野伊作

里人は若菜つむらむ春の野は霞たちつゝ長閑なりけり　松田稔

佐保姫の衣の裾の初若菜君にささげむいさつみてこむ　秀島飛雄

手作の若菜なつみて捧けゝりまた消え殘る雪なわけつゝ　林和作

市人か擔ひて賣る初若菜今日の夕けのあつものにせむ　宮崎茂光

故郷梅

春風の吹くにつけても思ひ出でぬ我故郷の梅の香　植野伊作

古里に春風吹けば古里の梅の香　松田稔

古里の庭の梅は咲きぬらむ高麗にも匂ふ風の吹く　秀島飛雄

古里の君の玉章くり返し見れは庭の梅にほふ　林和作

古里の庭の梅は咲きぬらむ匂ふ春風の吹く　土居まつゑ

古里の庭の梅の吹きにけり見れば　宮崎茂光

新刊紹介

▲隱元木庵即非（高橋竹迷著）大禪師の史上に特筆すべきは又足利鎌倉時代の時代風俗に一變化を來せりとも見るべき黄檗宗の師明朝滅亡に際し亡命して我が日本に渡來した第一祖師に就て説いたものである三師の別に支那に於ける事蹟より渡來後の事蹟を詳記して（東京市小石川區原町六番地丙午出版社）

▲新日本（二月號）大隈伯の我國體の精華を論ずる一篇を始め支那大觀（永井柳太郎）財政上より見たる歐洲大戰の前途（田中穗積）肥原の新局面（長瀬鳳輔）（八田理學博士）其他如何にして議會の品位を高むべきかに就ての諸名家の意見あり最新文明の欄内に於ける世界列國の新聞雜誌より摘錄は本誌の特色たり更に雜錄、物語、論、創作欄（中谷德太郎）の一篇あり（東京市神田區裏神保町九番地富山房）

▲音樂界（一七ノ二）本邦に於ける唯一の音樂雜誌なり（定價金廿錢東京神田三崎町三の一音樂社）

▲新農（二ノ二）定價六錢東京府下荏原郡目黒村新農社

▲農業（二ノ一）定價金七錢大阪市東區瓦町一〇二農業社

▲娛樂世界（二月號）定價金廿錢東京市日本橋區通油町九鈴木書店

▲教育雜誌（四の二）定價金拾一錢東京市神田區佐柄木町廿一北社

▲實業之日本（十九の三）定價金拾一錢東京市京橋區南紺屋町一二北社

▲葵（八八）定價金拾五錢大阪市東區今橋五丁目十四番地關西團菊會

▲邦樂（第二號）定價金拾錢東京市日本橋區室町二の二邦樂社

▲英語の日本（二の九）定價金拾錢東京神田區表神保町三越文館

▲國民飛行（一の二）創設せられたる國民飛行會の機關誌として創刊せられしものにして長岡會長の宣言を始め各專門家、新聞記者の飛行に關する記事多し（定價十六錢東京市麹町區富士見町四番地國民飛行會）

▲少女畫報（二月號）寫眞に讀物に趣味多きもの多し（一冊十五錢東京々橋區一番地東京社發行）

●歐洲戰亂と糖界

……の不可能なるは遺憾に堪へざる處なるが今其の糖界に及ぼせる影響を出……にも此の中の千百萬噸を以て歐洲……各國及び米國の消費する額を見積り……除きて露國最も其消費額の多きを示せり……と共に獨逸産額の行方に困却を來せ……就く昨今瓜哇糖にしろ玖瑪糖にしろ……世界の銅産額は倫敦市場の活躍につれ著しく増加すべき筈なれど……産に努むるを以て本年度の總産額は……りとも二割内外を増加すべく……

●露國藏劵解決

第五十七回營業報告

貸借對照表

貸方（負債之部）

科目	金額
資本金	五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
諸積立金	武、〇九參、武〇六、參壹
仕拂未濟配當金	七八壹、五七
貸代金	壹壹四、壹九四、九七
委託品金	武、五八壹、四六
引受爲替手形	八壹、八八七、〇六
仕拂手形	武、〇壹四、五武五、八四
社債	武、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
借入金	九七八、〇七武、四壹
預り金並ニ未拂金	四四六、五壹壹、六武
職工保險金	壹壹、壹〇六、八五
上海支店未決算	四壹壹、七六九、參七
前期繰越金	四五、〇參五、壹五
當期純益金	參參壹、〇九九、四九
合計	壹參、五參〇、七七武、壹〇

借方（資產之部）

科目	金額
拂込未濟資本金	壹、八七五、〇〇〇、〇〇
工場原料品、仕掛品製品	參、九武武、參九參、〇〇
買代金	五九、參參六、七壹
貯藏品	九九、武武參、〇九
銀行當座預金	參參五、〇六八、參武
預ケ金	參、四〇〇、〇〇
假出金	九七、八八參、參參
地所	九四八、武〇七、九八
建物	武、〇壹七、八五七、六七
機械器具	參、九〇壹、九壹五、四武
什器	參壹、壹〇七、〇六
有價證券	壹壹六、〇六武、五〇
工場要具	六〇、〇七四、五九
工場準備品	五四、五〇九、武武
現金	八、七參參、武壹
合計	壹參、五參〇、七七武、壹〇

科目	金額
當期純益金及前期繰越金合計	參七六、壹參四、六四

此配當計算左ノ如シ

科目	金額
積立金	五〇、〇〇〇、〇〇
役員使用人賞與金	四九、五〇〇、〇〇
配當金（年壹割武分）	壹八七、五〇〇、〇〇
後期繰越金	八九、壹參四、六四

右之通候也

大正五年一月

内外綿株式會社

取締役 中野太右衛門
同 川邨利兵衛
同 阿部房次郎
監査役 武居綾藏
同 天木一太郎
同 浮田桂造
取締役 牟田虎之助
川邨利兵衛任期滿了重任

石炭 明治町一丁目 村山商行 電話一〇五一

新荷着 アンクル式片側懷中時計

機械堅牢正確 價格の低廉なる事天下無比

各種時計蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國貨直輸入商

本店 京城本町二丁目 イングレッシー商會 電話九七二番

本當の女を見よ
女の世界
二月號出づ 定價廿錢 郵送料一錢五厘
細君を恐るゝ勿れ 有美 青柳
◎女身を執金剛神とせよ 野依秀一
◎女と金と 猫漣
◎淺草第一の美人 花村月吹
◎空飛ぶ女 吉田虛白
巴里の女 朝鰯 新生 蘆田
▲長崎の女 吉田 赳
▲越後娘と越中女 芝香女史
▲甲斐の名物女 白葉生
▲戀の京女 東女
▲支那美人の相場 大橋對子
▲投機の伊太利女 花枝
◎地を飛ぶ女 金夷生
◎未亡人番附の大關は誰か はくえふ
◎高橋お傳勝骨物語 青柳有美
◎女たり男たるの秘訣
お七吉三（情話） 田村俊子
東京日比谷 實業之世界社發行 振替東京三四三三

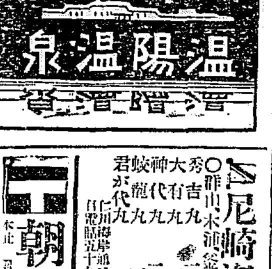
開業廣告
元仁川病院長 醫學士 齋勇（イツキ）
内科專門 京城、仁川、水原往診ノ需ニ應ズ
龍山元町二丁目六十五番地（龍山ホテル前）
電話二五八番

東京 大阪 共同出版社發行
小學讀本自修書、研究新辭典、高等一年、同二年、用問題、大字の解き方、文の自修、國語範、國史自修、理科自修、地理自修、作文修、入學試驗問題、全科自修、大正五年高等女學校入學準備、數學、日本畫法、全六解法 ほか
東京市京橋區南傳馬町一丁目 目黒分店 振替東京二三五七番
京橋區南傳馬町一丁目 發賣所 博愛館
書籍取次 發賣所

▲一文を惜て百損の災を受る勿れ▼
◎社會は進歩すると共に火災を防ぎ資産人命を救ふの器を設備せられよ
◎整理節減との爲め産を失ふ者一日平均十萬餘圓人命を亡すこと十名以上之れ全く惱るべきことゝ云ふべし
◎今や社會に防火の要器として日に増し設備の功果を示せるは消火器あり
◎營業目錄御入用の方へは御一報次第直に送呈す
英式製綿機朝鮮總代理店
野崎式消火器朝鮮一手販賣店
機械中村合資會社朝鮮總代理店
各種消火器 消防ポンプ特約販賣
釜山本町一丁目 中島竹次郎商店（電略ナカ）

瀬戸皮膚科外科醫院
旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士 瀬戸潔
診察夜九時まで
（電話二四九八番）

山東 關東 青島 鹽 原鹽 再製 粉碎 各種販賣
仁川濱町八 鹽販賣所 電話二四〇

閑靜にして避暑避寒に宜し

溫陽溫泉

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸 二月八日 後四時出帆
大有丸 二月四日 後四時出帆
神代丸 二月 日 後四時出帆
蛟龍丸 一月三十日 後四時出帆
君が代丸
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船 出帆
金剛丸 京畿丸 二月十二日 釜山發
誠興丸 貢江丸 二月十一日 釜山發
鏡城丸 昌平丸 二月十六日 元山發
隱城丸 二月十二日 元山發
永興丸 毎月廿八回 元山發
盈德丸 二月五日 釜山發
江陵丸 毎日 釜山（浦項）發
濟陽丸
三浦丸 二月二日 釜山發
海州丸 毎旬 釜山發
統營丸
順天丸 三日目毎 木浦發
慶興丸 一月 日 木浦發
公州丸 二月一日 木浦發
公州丸 一月二日 木浦發
全州丸 二月五日 仁川發
江原丸 二月五日 仁川發
麗水丸 二月二日 仁川發
晉州丸 二月七日 仁川發
錦江丸 毎日午前 仁川發
南陽丸 三日 群山發
平安丸 一月 若松發

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 立神丸 二月八日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 一月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 一月 日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 二月三日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三榮平丸 一月 日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三榮平丸 二月十一日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天草丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆
大池回漕部

共同汽船仁川出帆
錦城丸 大連、芝罘行 一月三十日後二時入港 二月一日前九時出帆
共同丸 大連、青島行
第一坂鶴丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三共同丸（元山出帆）
阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目 山下回漕部 仁川代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

日本郵船仁川出帆
○大連、秦皇島行 淡路丸 二月十八日 正午出帆
竹島丸 二月四日 正午出帆
高砂丸 二月十二日 正午出帆
仁川海岸町 堀回漕部

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
油頭丸 二月一日 午後五時出帆
吉辰丸 二月九日 午後二時出帆
溫州丸
×木浦、釜山、長崎行 安東丸 二月九日
城津丸 一月卅一日 午後二時出帆
×大連行 安東丸 二月五日 正午出帆
城津丸 二月十三日
◉群山大阪行 大智丸 二月三日 後五時出帆
◉群山、關門、神戸、大阪行 溫州丸 二月五日 後五時出帆
○群山、釜山、鎮南浦行 チヨイサン丸 二月九日 午後四時出帆
△大連直行 漳州丸 二月十九日
△チヨイサン丸 二月四日 正午出帆
○清津、浦潮行（元山出帆） 二月十五日
臺北丸 久丸 二月八日 午後二時出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 安平丸 二月十一日 午前四時出帆
新高丸 二月十六日
御注意 ○×印は一等客乘船、△印は三等客取扱
京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番 京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七八〇番